

オフィス緑化に関する優良事例調査

報告書

目次

調査実施概要	2
回答者の属性分布	3
優良事例の紹介	6
参考（調査結果詳細）	9
Q1 普段、緑とはどの程度、接していますか	10
Q2 緑とはどのように接していますか	11
Q3 緑の療法的効果にどの程度実感していますか	14
Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（全体）	19
Q5 現在の職務環境で緑を実感する場所がありますか	31
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか	32
Q7 職務環境にある緑について気になる点がありますか	46
Q8 緑の導入によりどんな効果を期待していますか※導入窓口部門のみ	47
Q9 緑の維持管理について、どのように感じていますか※導入窓口部門のみ	48
Q10 職務環境における緑の導入についてのあなたの総合評価を教えてください	49
Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか	51
Q12 緑化に積極的に取り組む企業についての印象に当てはまるものを教えてください	59
Q13 職務環境に緑があることは、どの程度重要だと思いますか	60
Q14 普段の生活において、今後、緑との接触は増やしたいと思いますか	61
Q15 どのような接し方を増やしたいと思いますか	62
Q16 緑に関して、どのような情報に関心がありますか	64
Q17 貴方のオフィスで緑化がなされていることで、企業にとってのメリットとなったことがあれば具体的な事例をお聞かせください※導入窓口部門のみ	66
Q18 オフィスの緑化推進に関する意見、ご要望があればご記ください	68
調査結果のまとめ	71
調査結果のまとめ（課題）	72

調査実施概要

調査目的：

オフィス緑化に関する優良事例の把握とオフィスの緑化推進に関するご意見・ご要望、意識を把握する目的とする。

調査対象：

職務環境に植物を導入している企業

調査期間：2019年1月21日～2月28日

調査方法：留置法（紙媒体によるアンケート、※一部インタビューあり）

回答企業数：17社146名

調査主体：環境省 自然環境局自然環境計画課 生物多様性戦略推進室

調査実施機関：パソナ・パナソニックビジネスサービス株式会社

レポートを見る際の留意点：

- ・グラフや表に表示されているnは回答者の数です。
- ・集計結果の%表示は小数点以下第1位を四捨五入しています。
そのため内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、構成比算出の母数は回答者数とします。
そのため各項目の比率が100%以上となる設問があります。
- ・設問内容及び回答の選択肢は文意に留意しながら簡略化している場合があります。
- ・アンケート回答者の意思を尊重するため、回答内容は原文のまま記載しております。

回答者の属性分布

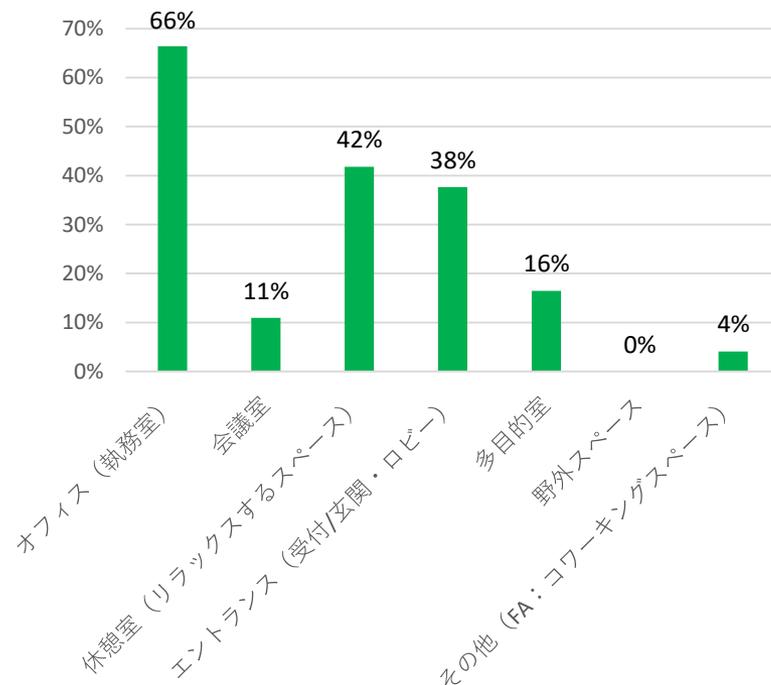
(1) 業種

業種	回答者数	構成比
建設業	13	9%
製造業	25	17%
情報通信業	26	18%
卸売業・小売業	6	4%
不動産業・物品賃貸業	29	20%
生活関連サービス業・娯楽業	11	8%
医療・福祉	11	8%
サービス業で他に分類されないもの	25	17%

(3) 緑の月額メンテナンス費用

金額	該当数	構成比
10万円以上	84	58%
5万円以上10万円未満	49	34%
5万円未満	13	9%

(2) 導入場所

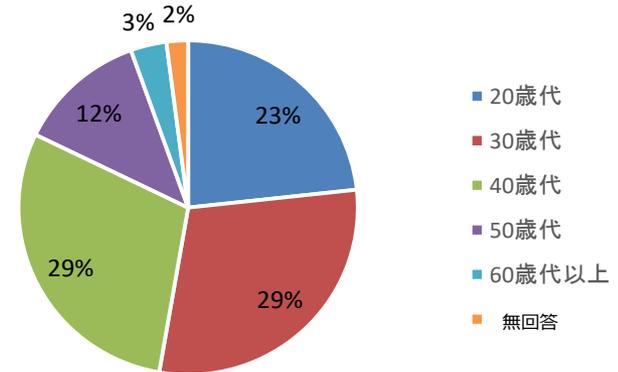


回答者の属性分布

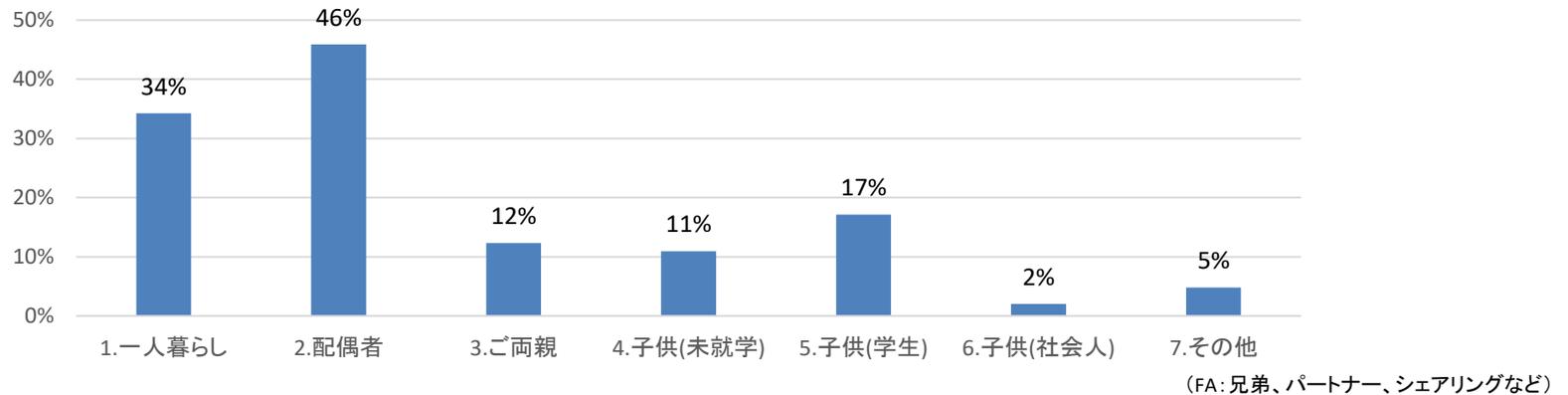
(4) 性別

性別	回答数	構成比
女性	81	56%
男性	63	43%
無回答	2	1%
総計	146	100%

(5) 年代



(6) 同居家族



回答者の属性分布

(7) 職種（所属部門）

部門		回答数	構成比
間接部門	総務/人事	61	42%
	経理	1	1%
	経営企画	9	6%
事業部門	営業	32	22%
	企画	5	3%
	マーケティング	2	1%
	広報	1	1%
開発部門	開発	7	5%
	システム	3	2%
その他 (FA:設計、デザイン、ブランド戦略他)		22	15%
無回答		3	2%
総計		146	100%

(9) アンケート区分

アンケート区分	回答者数	構成比
導入窓口部門の 担当者及び責任者	25	17%
一般社員	121	83%
総計	146	100%

(8) 役職

役職区分	役職	回答数
管理職以上	1.社長	1
	2.取締役・役員クラス	2
	3.部長・次長クラス	12
	4.課長クラス	13
管理職以上 集計		28 (構成比19%)
従業員	5.係長・主任クラス	19
	6.一般社員	73
従業員 集計		92 (構成比63%)
その他	7.業務委託/派遣社員	10
	8.その他	11
	無回答	5
その他 集計		26 (構成比18%)
総計		146

※本調査では、オフィスへの植物導入における
窓口担当者及び責任者のみの質問があります

優良事例の紹介 1

オフィスの緑化推進に関する従業員の方の意見（アンケート一部抜粋）

業種	導入場所	意見
情報通信業	休憩室	リラクゼーションスペースに緑があるので、仕事をする時はオフィスで、休憩したい時はリラクゼーションスペースで、とメリハリをつけることができていると思う。外部からも堅苦しくないオープンな会社を感じると思う。
サービス業で他に分類されないもの	休憩室・エントランス	レプリカのグリーンはありますが、本物のグリーン、植物が増えるによりリラックスして仕事に取り組める気がします！ 空気も良くなるような気がするし、目にもやさしいので賛成します！
生活関連サービス業・娯楽業	執務室・休憩室・エントランス	オフィス内の一部エリアのミーティングスペースの緑は定期的に鉢が変えられているので様々な種類を楽しむことができる。季節感があって良い。

優良事例の紹介 2

オフィスの緑化による企業にとってのメリットとなった事例（アンケート一部抜粋）

業種	導入場所	意見
不動産業・物品賃貸業	執務室	緑があるだけで、オフィス空間の雰囲気が一新しました。 緑を入れる前はいわゆる一昔前のオフィスだったのが、風通しの良さ そうな雰囲気にガラッと変わったように感じます。
製造業	執務室・休憩室	お客様(対内外)からの注目度が高まったと同時に内に働く従業員の「我が職場」の意識が高まり、働きがいの向上につながっていったと 感じる。
医療・福祉	執務室	お客様よりオフィスについてほめられる。 採用面接でいい印象を与えられている。

優良事例の紹介（インタビュー）

Q1 オフィスに緑があることに関するメリット

※インタビュー回答者

業種	導入場所
サービス業で他に分類されないもの	執務室

- 水やりの担当があり、朝日を浴びながら行えて良かった。
- 水やりの際、担当者同士や通りがかった社員との部署を超えてのコミュニケーションに繋がった。
- 元々植物に興味はなかったが、緑のある環境で働くと抵抗なく、むしろ良いと感じた。
- 先進的な取り組みのため取引先から見に行きたいと言って頂けることがうれしかった。

Q2 オフィスに緑があることのデメリット

- 虫がたまにでること。ただし、虫は慣れるので現在は気にならない。

Q3 その他、緑に関すること

- 一次的にオフィス移転した際に緑がなくなったことがあり、その時は無機質な空間となりストレスがたまった。どのような形でも緑はある方が良い。

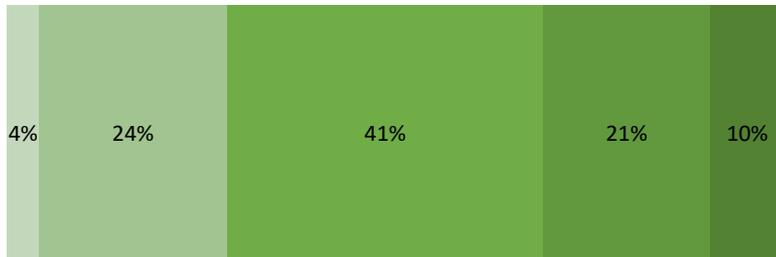
以下、アンケートの各設問に沿って、副次的に集計を行いました。
設問については、以降の各ページタイトルをご参照ください。

レポートを見る際の留意点（再掲）：

- ・グラフや表に表示されているnは回答者の数、SA：単一回答、MA：複数回答 です。
- ・集計結果の%表示は小数点以下第1位を四捨五入しています。
そのため内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、構成比算出の母数は回答者数とします。
そのため各項目の比率が100%以上となる設問があります。
- ・設問内容及び回答の選択肢は文意に留意しながら簡略化している場合があります。
- ・アンケート回答者の意思を尊重するため、回答内容は原文のまま記載しております。

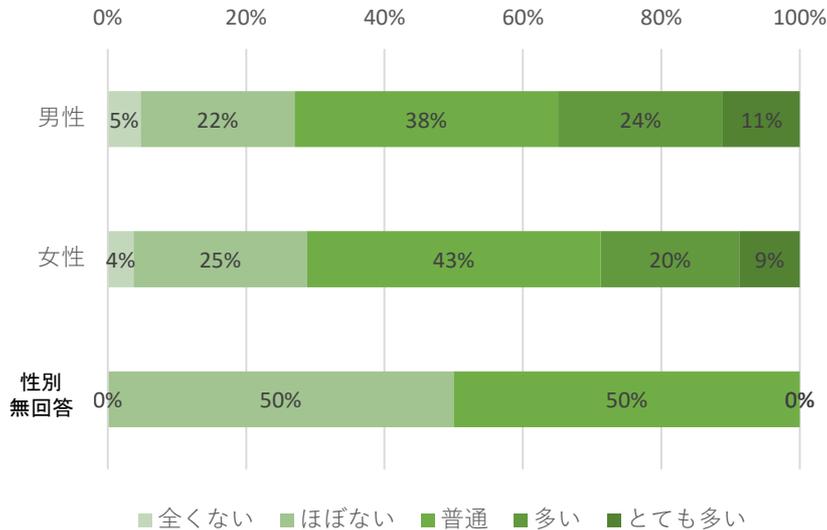
Q1 普段、緑とはどの程度、接していますか

※全体 (n=145、未回答1) [SA]

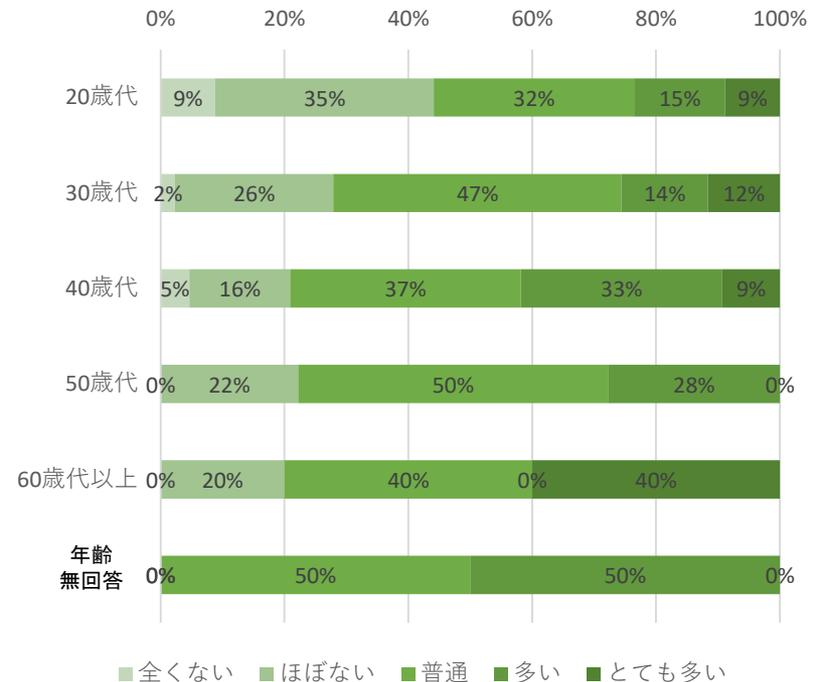


普段から緑に接している機会が【多い】、【とても多い】と感じている方は31%の結果であった。性別による程度差はあまり見られなかった。20歳代は他年代に比較すると、緑と接していない傾向が見受けられる。

※男女別 (n=145、未回答1)

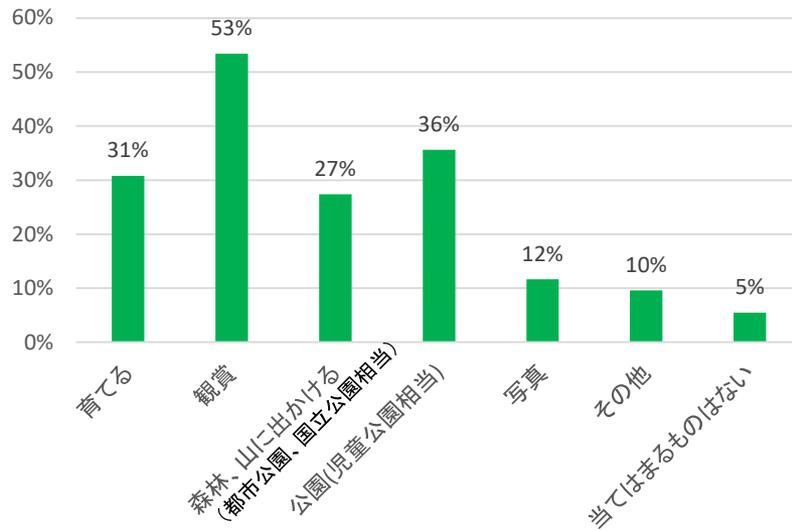


※年代別 (n=145、未回答1)



Q2 緑とはどのように接していますか (1/3)

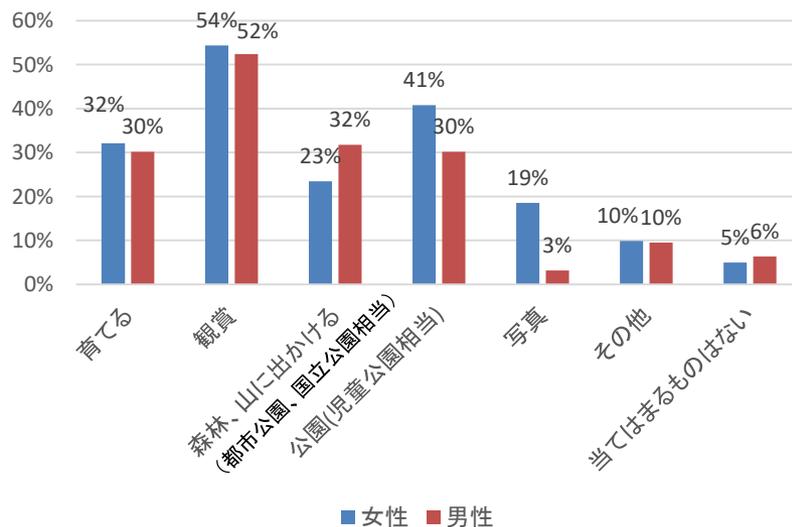
※全体 (n=146) [MA]



全体では、植物を【鑑賞】して接する人が最も多く、次に【公園（児童公園相当）】に行くことで接している人が多かった。

男女による大きな違いは見られないものの、特に【森林・山に出かける（都市公園、国立公園相当）】割合は男性の方が多い傾向がみられる。また、【写真】で接している割合は女性の方が多い結果となった。

※男女別 (n=146)



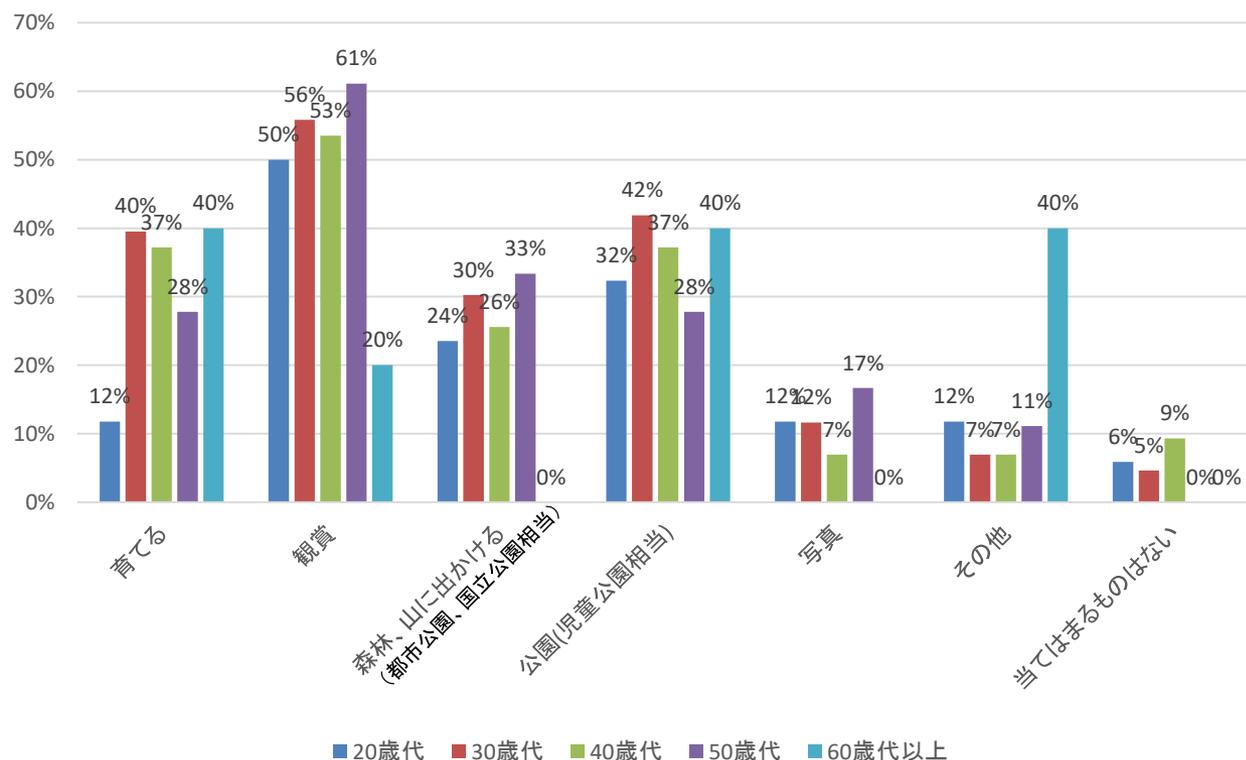
その他の回答 (FA)

- インテリア
- オフィス
- オフィスに緑がある。
- 街中で見る。
- 街路樹etcを観ながら、樹種や花を気にかけてみる。
- 兼業農家
- 視界に入る程度
- 社内
- 職場
- 庭
- 歩いていて草木を見る程度。

Q2 緑とはどのように接していますか (2/3)

20歳代を除く他の年代では【鑑賞】の次に、【公園】または【育てる】がほぼ同率となっている。20歳代については、【育てる】と回答した割合は低く、【鑑賞】、【公園】のほかに、【森林・山に出かける（都市公園、国立公園相当）】ことで接していることが見受けられる。

※年代別 (n=146)

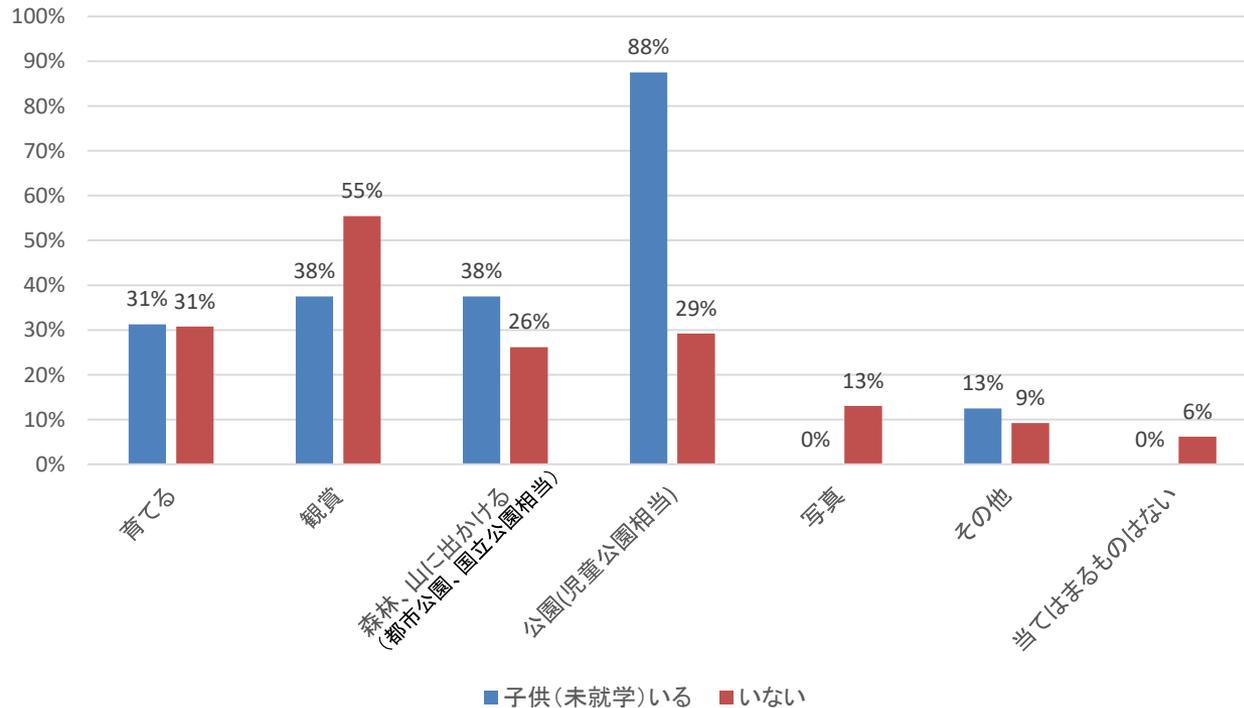


Q2 緑とはどのように接していますか (3/3)

同居家族に未就学児がいる場合、圧倒的に【公園（児童公園相当）】で接しているケースが多かった。

未就学児がいない場合には、【鑑賞】が最も多く、次いで【育てる】【公園（児童公園相当）】という順の結果となった。

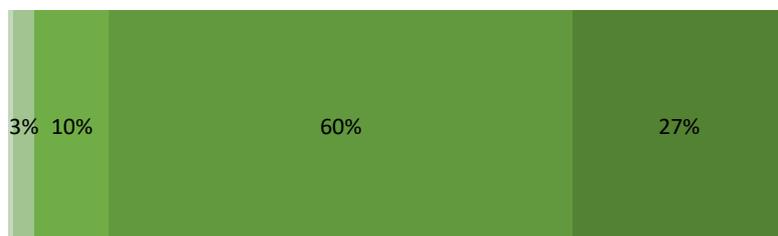
※同居家族に未就学児がいる/いない 別 (n=146)



Q3 緑の療法的効果にどの程度実感していますか（心理的効果1/2）

心理的効果については、87%の方が何らかプラスの効果を実感している。
男性に比較して、女性の方がよりその効果を感じていることが見受けられる。
今回の調査の中では、女性の91%が心理的効果を感じている結果となった。

※全体（n=146） [SA]



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

※男女別（n=146）



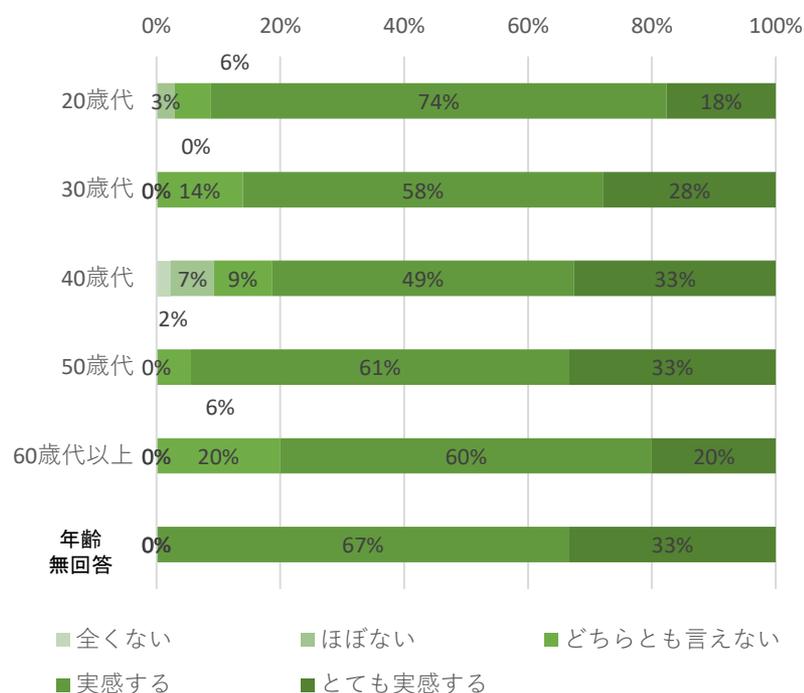
■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

Q3 緑の療法的効果にどの程度実感していますか（心理的効果2/2）

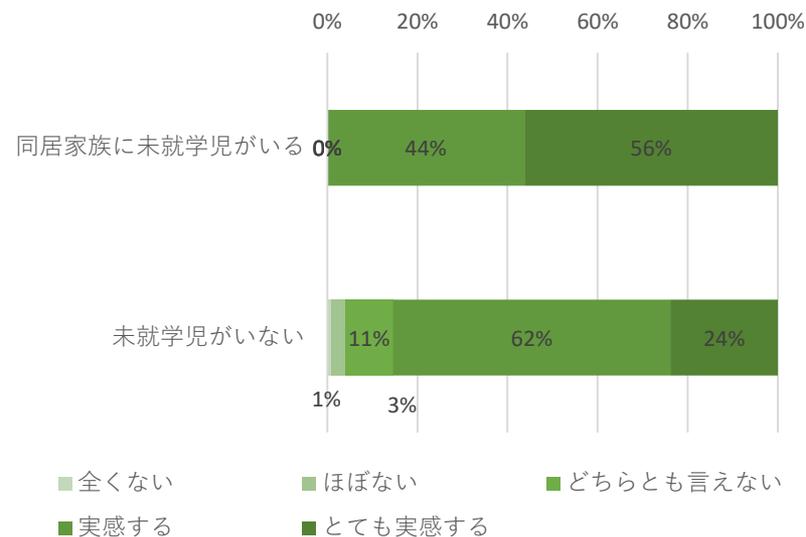
心理的効果については、50歳代で最も効果を感じている方が多く、次いで20歳代が実感している傾向があった。

同居家族に未就学児がいる方の場合には、全員が心理的効果を感じている結果となった。

※年代別（n=145、未回答1）



※同居家族に未就学児がいる/いない 別（n=146）

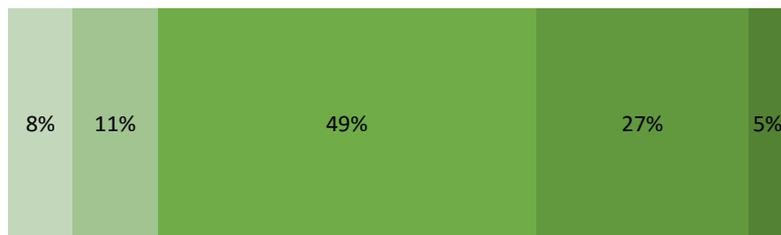


Q3 緑の療法的効果にどの程度実感していますか（生理的効果1/2）

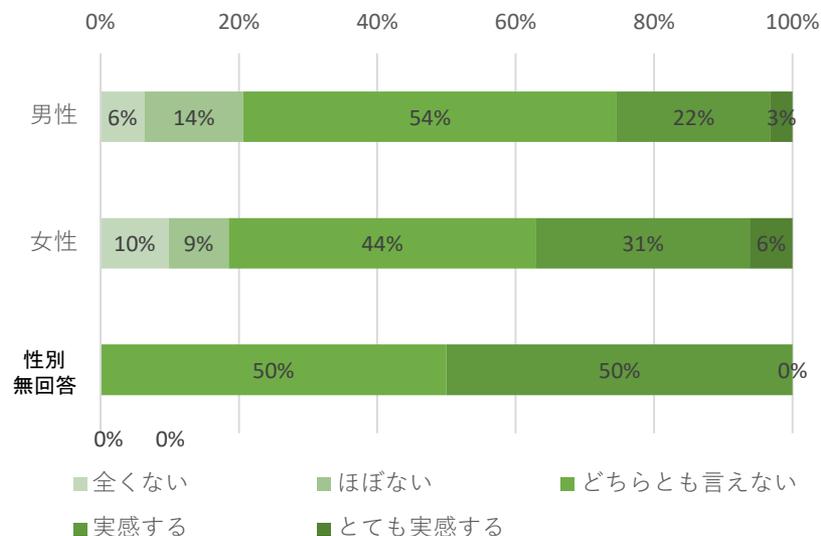
生理的効果については、全体の32%の方が効果を実感している。
先述の通り、心理的効果を実感している方が87%いたことに比較すると、
緑の療法的効果としては生理的効果よりも、心理的効果の方が実感している方が
多かった。生理的効果の実感として、男女による差は見られなかった。

※男女別（n=146）

※全体（n=146） [SA]

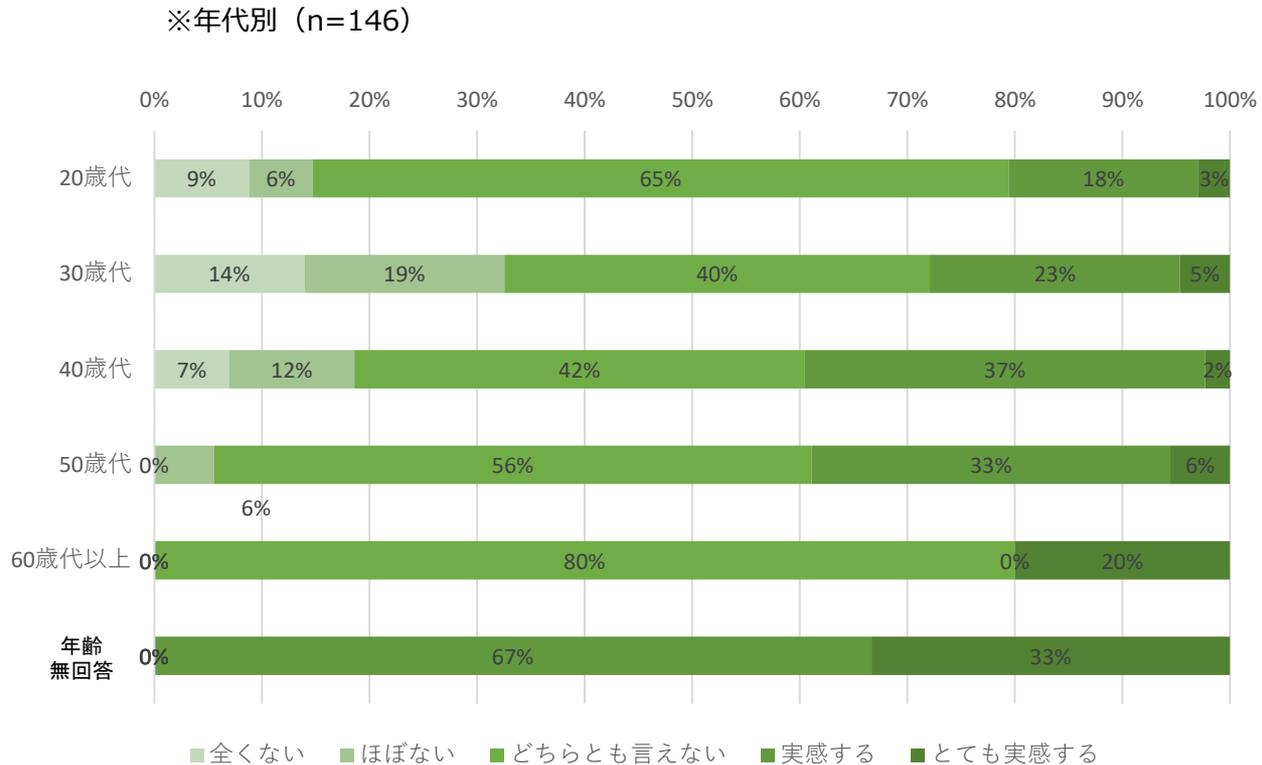


■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する



Q3 緑の療法的効果にどの程度実感していますか（生理的効果2/2）

生理的効果については、40歳代・50歳代で効果を感じている方が最も多い結果となった。



Q3 緑の療法的効果にどの程度実感していますか（FA）

心理的効果、生理的効果のほかに実感していること

新宿から緑の多い世田谷に越してきたらぜんそくが良くなった。

緑があることで、リラックスできると考えている。とても重要なものと考えている。

緑が身近にある方が、リラックス効果、癒し効果がある気がする。

その他FAで記載があったもの

オフィスデザインの見栄え。

愛着わく。

楽しい。

観葉植物に水を与えるときは声をかけ、話しかけて育てている。

景観が美しい。

子どもの “育てる”教育

視覚的に、グリーンがあるときれい。インテリアとしてとり入れるのが好きです。

自然の香り

Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（全体）

緑の健康効果として、6項目質問したうち、特に実感値が高いものとしては、「ストレス解消」「心が落ち着く」「ホッとする」の3項目となった。

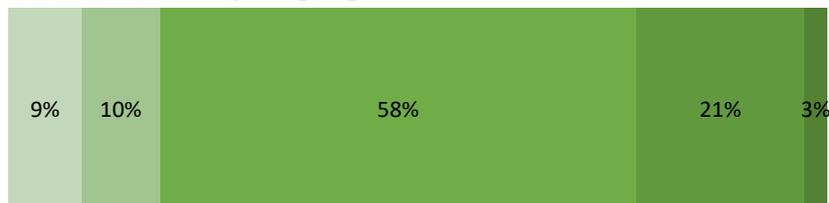
※全体（n=146） [MA]

項目	全くない	ほぼない	どちらとも言えない	実感する	とても実感する
よく眠れる	13	14	85	30	4
ストレス解消	2	5	45	64	30
心が落ち着く	1	2	10	85	48
ホッとする	2	1	15	87	41
ドライアイが治まる	34	14	84	10	4
肌に良い	28	13	87	12	6

Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（よく眠れる）

緑の健康効果として「よく眠れる」と感じている人は全体の2割程度にとどまり、【どちらとも言えない】が最も多い結果となった。
年代別に見ると、20歳代・40歳代・50歳代で25%前後、60歳代では40%の方が「よく眠れる」と効果を感じている結果となった。

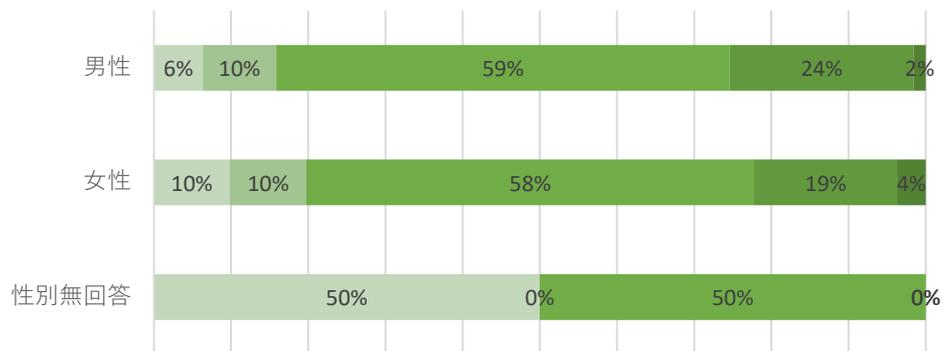
※全体 (n=146) [SA]



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

※男女別 (n=146)

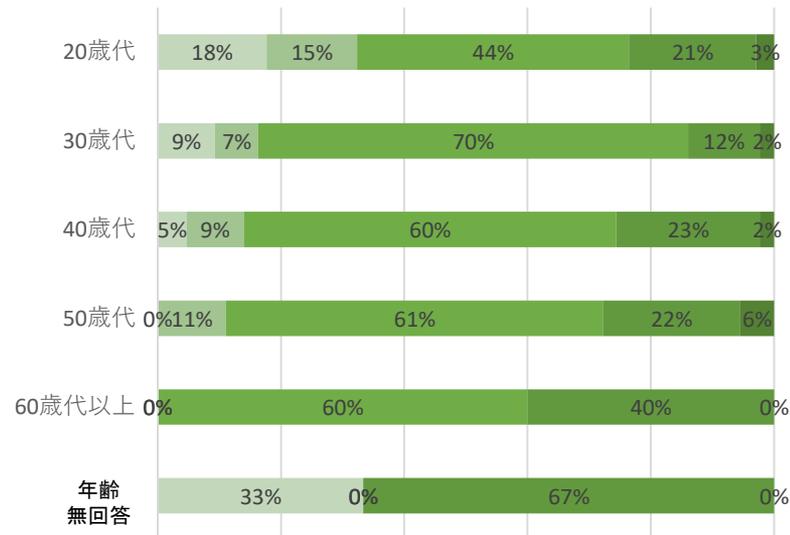
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない ■ 実感する ■ とても実感する

※年代別 (n=146)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

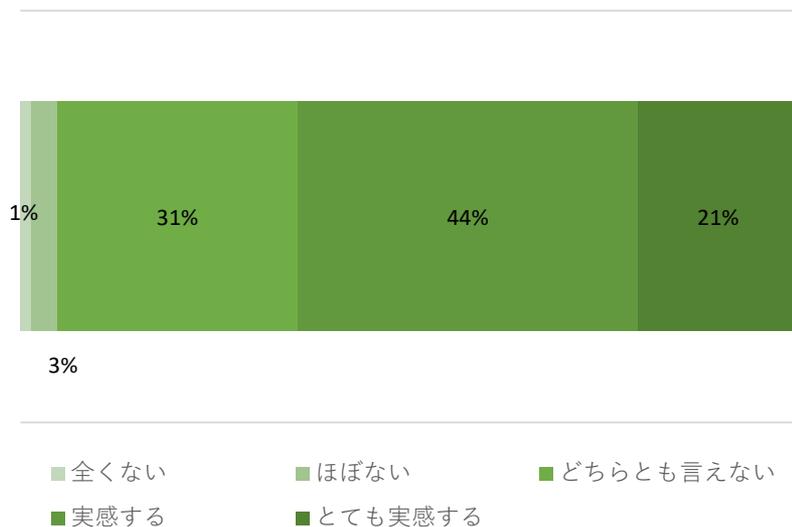


■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

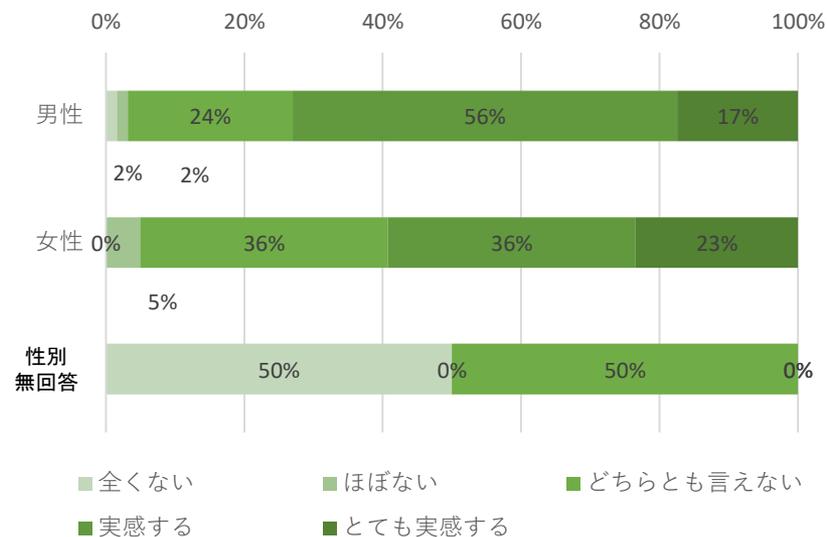
Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（ストレス解消1/2）

全体の6割以上の方が、ストレス解消効果を実感している。
特に男性の方がより効果を感じている様子が見える結果となった。

※全体（n=146） [SA]

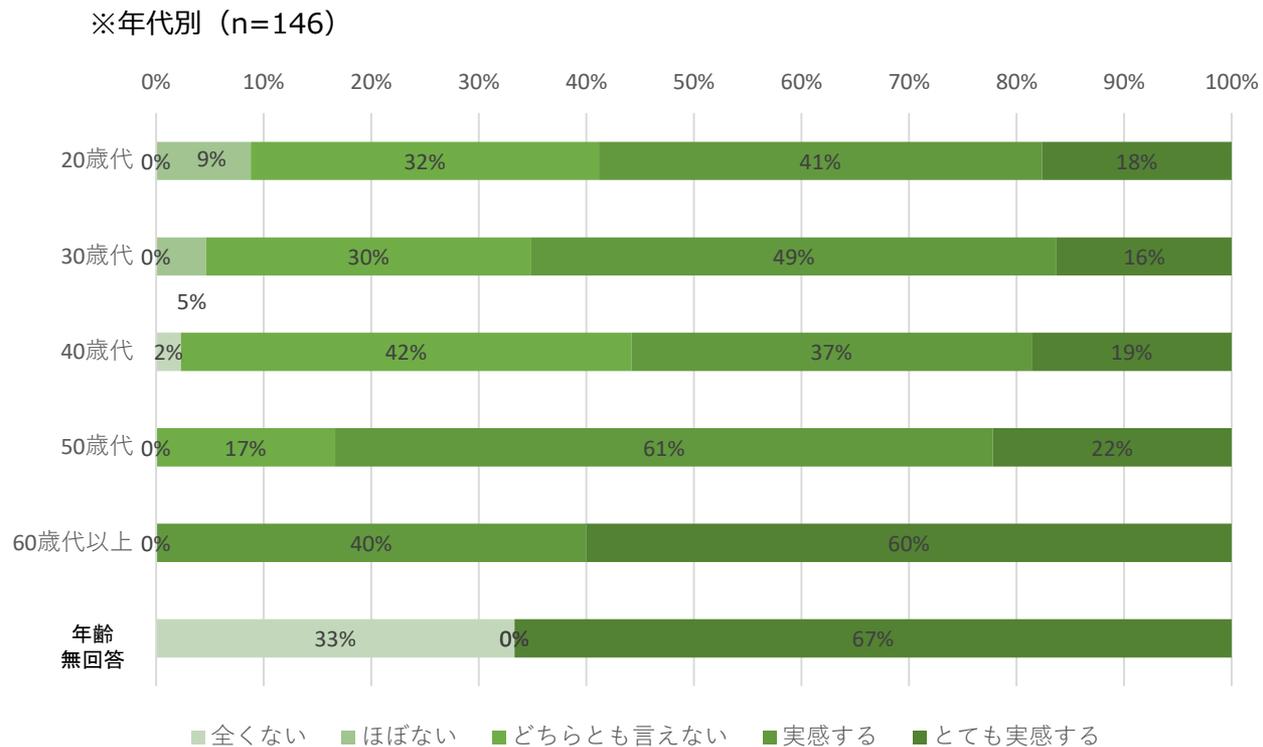


※男女別（n=146）



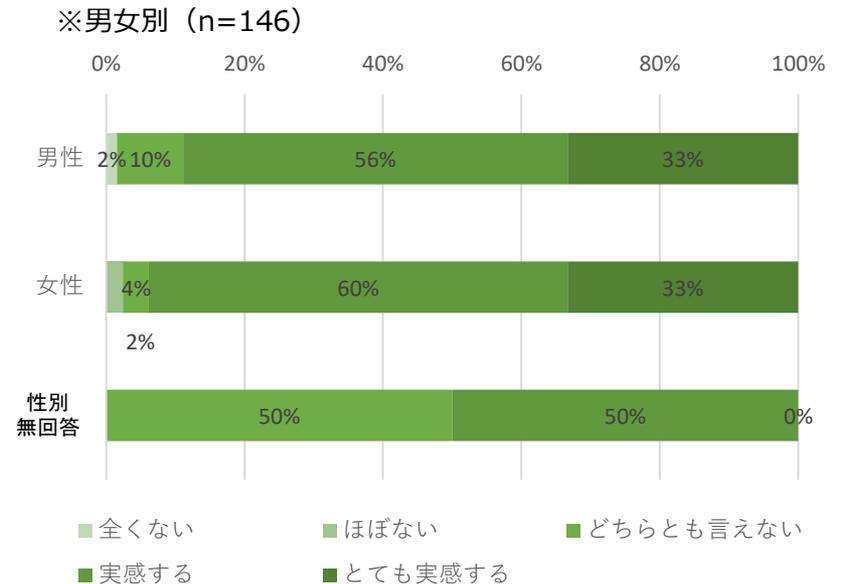
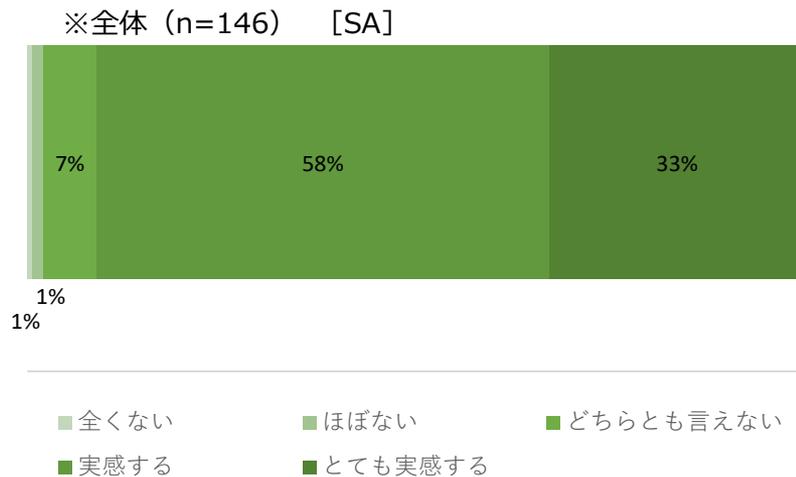
Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（ストレス解消2/2）

年代別に見ると、特に50歳代以上でストレス解消効果を感じていると回答している人が多い結果となった。



Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（心が落ち着く1/2）

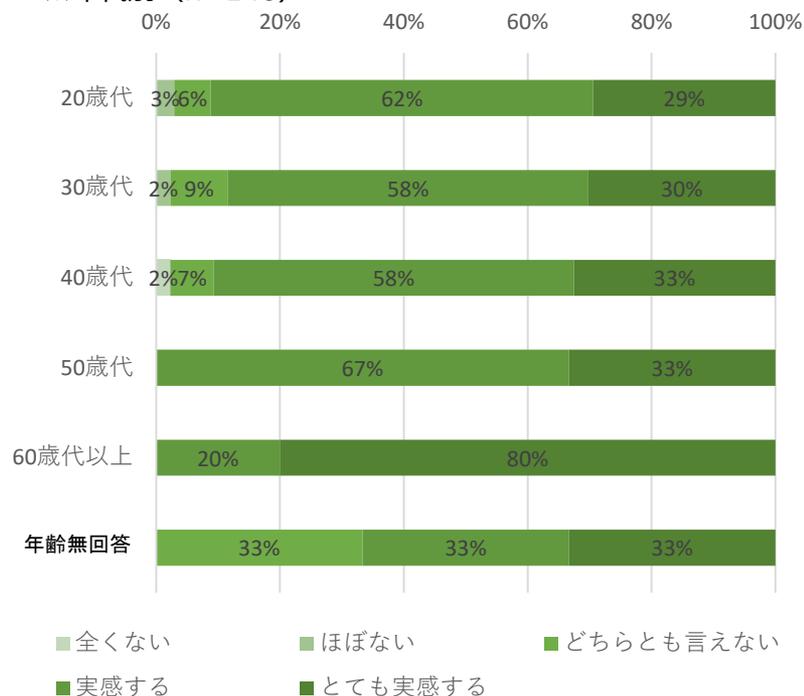
「心が落ち着く」という効果については、全体の91%の方が効果を実感している。「よく眠れる」「ストレス解消」は男性の回答が多かったのに対し、本項目では女性の方が実感している結果となった。



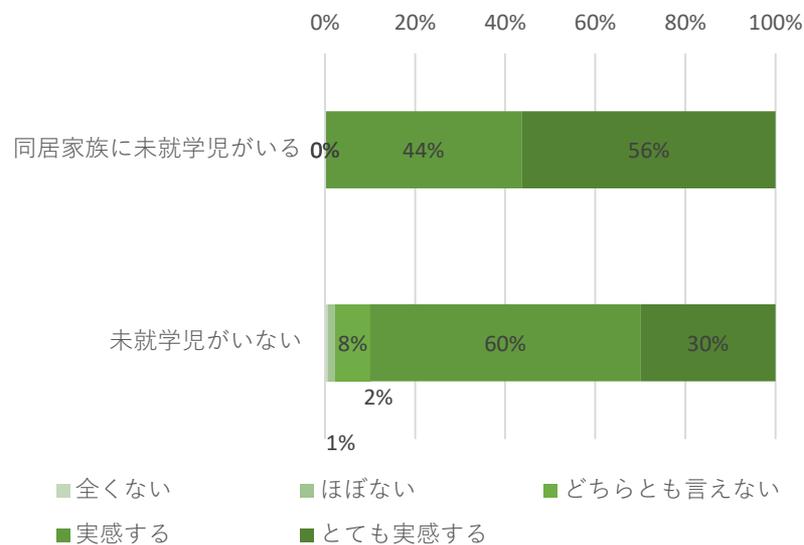
Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（心が落ち着く2/2）

全年代で9割前後の方が効果を実感している。
調査した緑の健康効果6項目(17P参照)の中で、「心が落ち着く」が最も効果を感じる項目として回答が多かった。

※年代別（n=146）



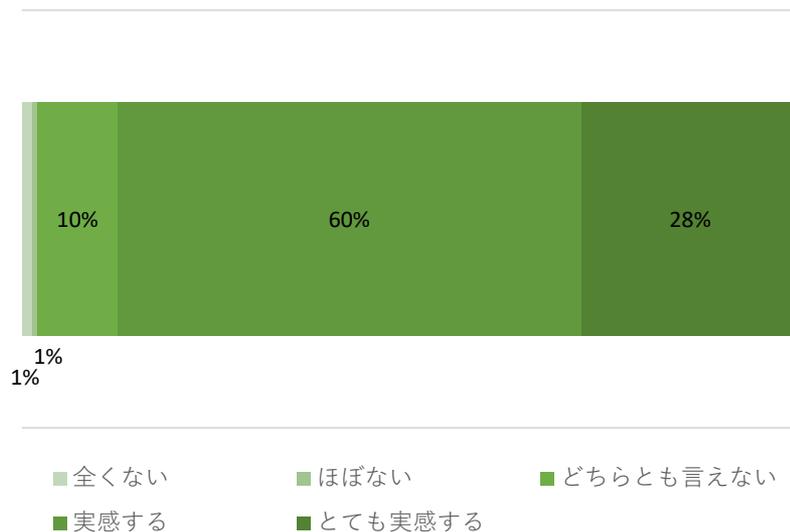
※同居家族に未就学児がいる/いない別（n=146）



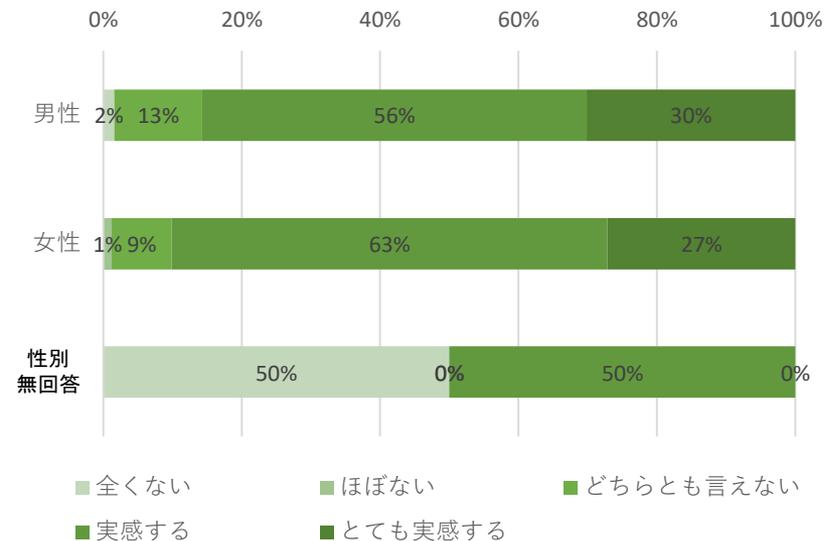
Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（ホツとする1/2）

「ホツとする」という効果については、全体の88%の方が効果を実感している。「よく眠れる」「ストレス解消」は男性の回答が多かったのに対し、本項目では女性の方が実感しているという傾向がみられた。

※全体（n=146） [SA]



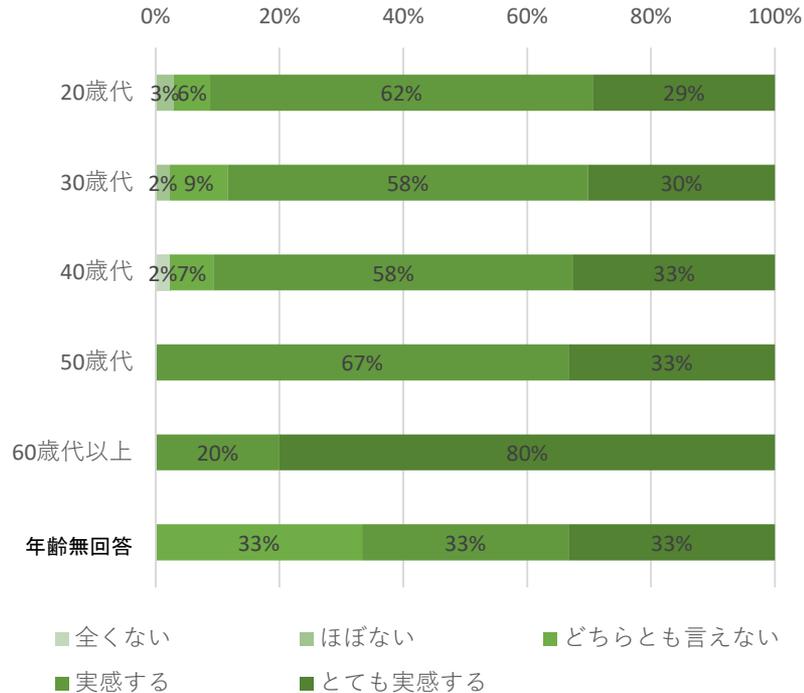
※男女別（n=146）



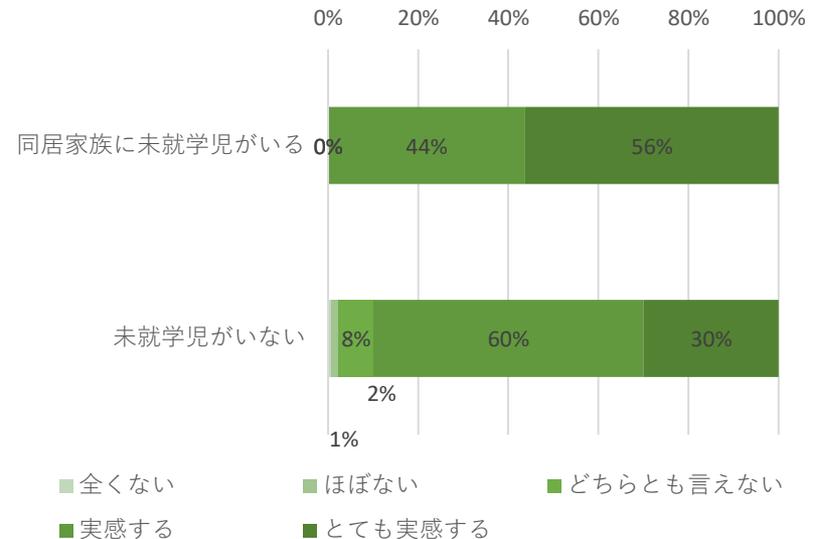
Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（ホッとする2/2）

50歳代以上、また同居家族に未就学児がいる人は全員「心が落ち着く」というプラス評価を行っていた。

※年代別（n=146）



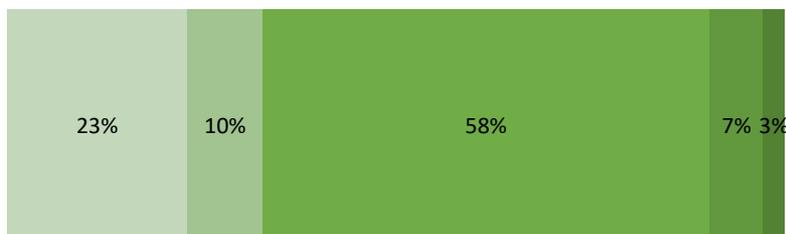
※同居家族に未就学児がいる/いない 別（n=146）



Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（ドライアイが治まる1/2）

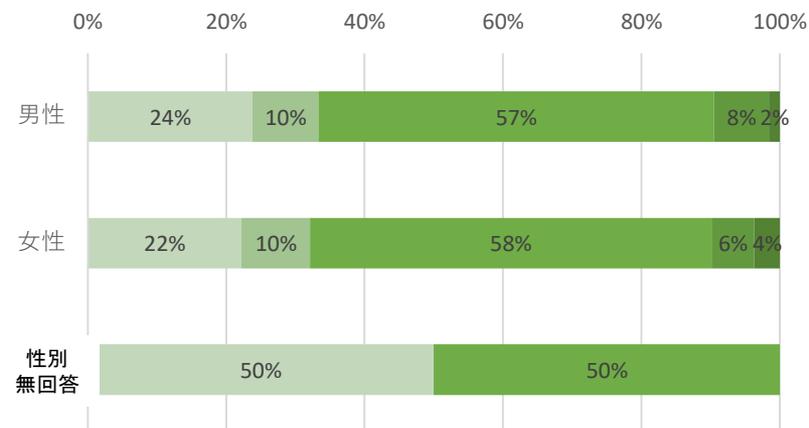
ドライアイが治まる効果については、全体の1割程度にとどまった。
男女差・年代差による違いは見受けられない。

※全体 (n=146) [SA]



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

※男女別 (n=146)

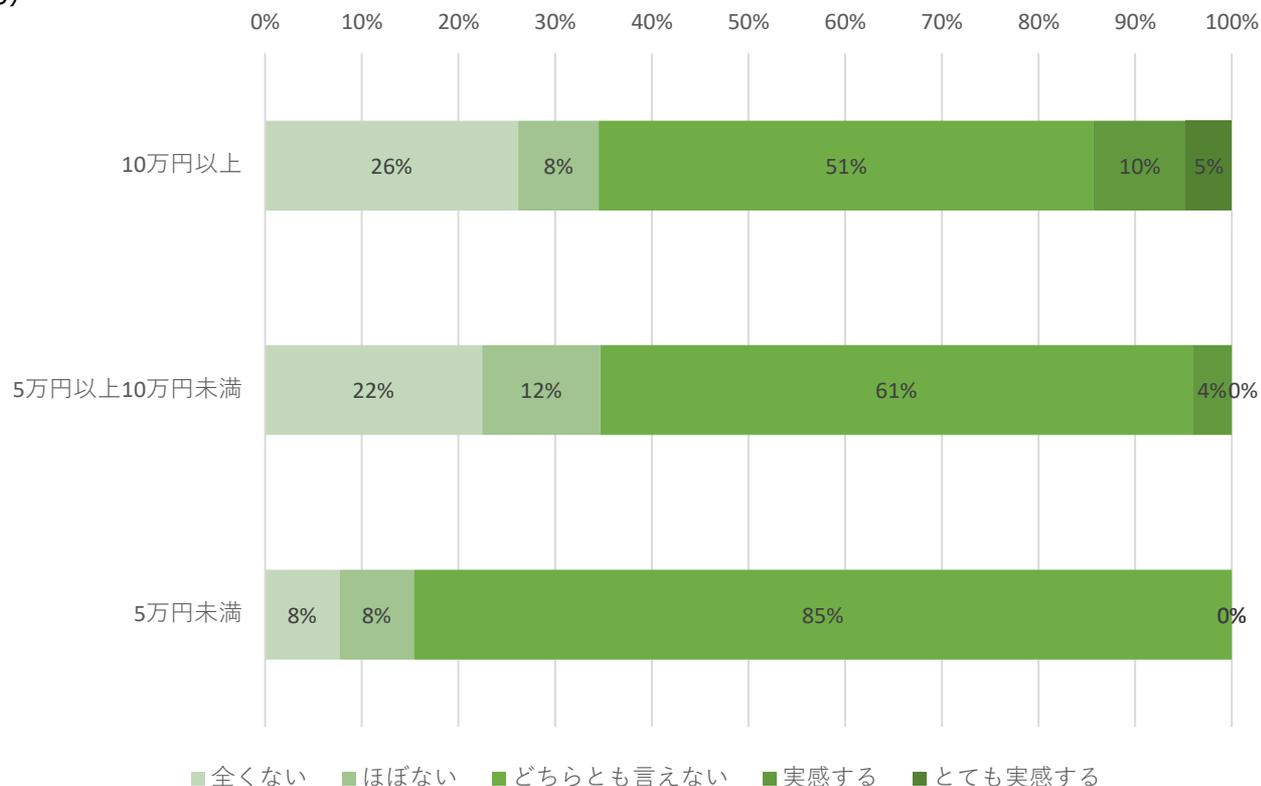


■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（ドライアイが治まる2/2）

緑の導入量の目安となる月額メンテナンス費用が「10万円以上」のオフィスで働く方の15%が【実感する】【とても実感する】と回答している。緑の量がドライアイの改善に寄与している可能性がある結果となった。

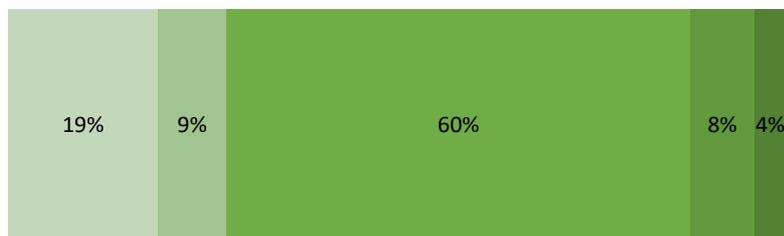
※ (n=146)



Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（肌が良い1/2）

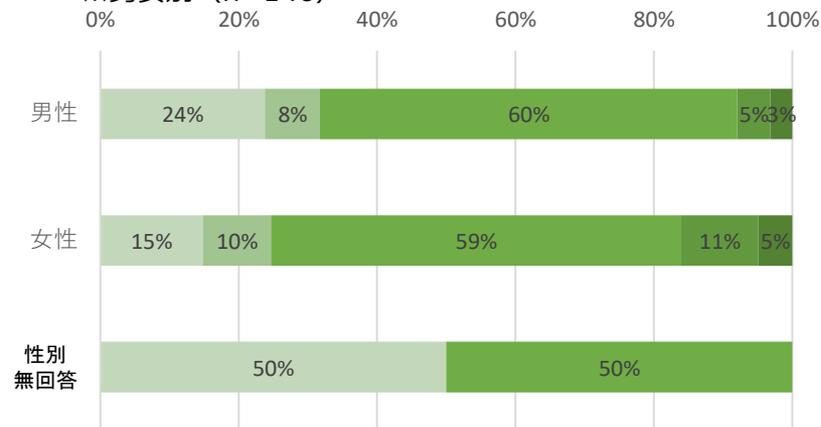
緑による、「肌が良い」効果を感じている方は、全体の1割程度にとどまった。
男性の8%が効果を感じているのに比べて、女性は16%と、2倍効果を実感している割合が多い結果となった。

※全体（n=146） [SA]



■ 全くない
■ 実感する
■ ほぼない
■ とても実感する
■ どちらも言えない

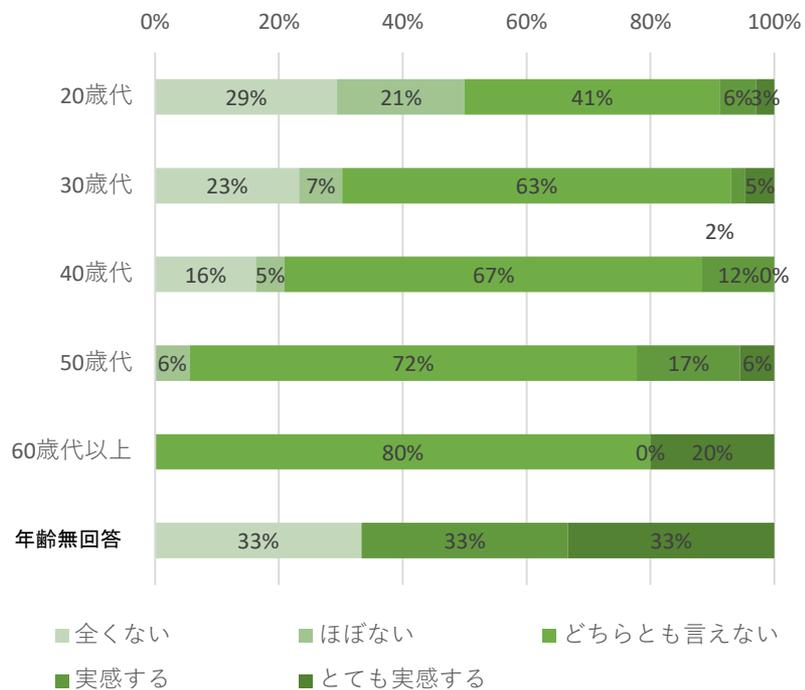
※男女別（n=146）



■ 全くない
■ 実感する
■ ほぼない
■ とても実感する
■ どちらも言えない

Q4 緑の健康効果にどの程度実感していますか（肌に良い2/2）・FA

※年代別（n=146）



その他の回答（FA）

心理的な健康効果は実感できるが、あまり身体的効果は実感できる程は感じられない。

目が楽になる。

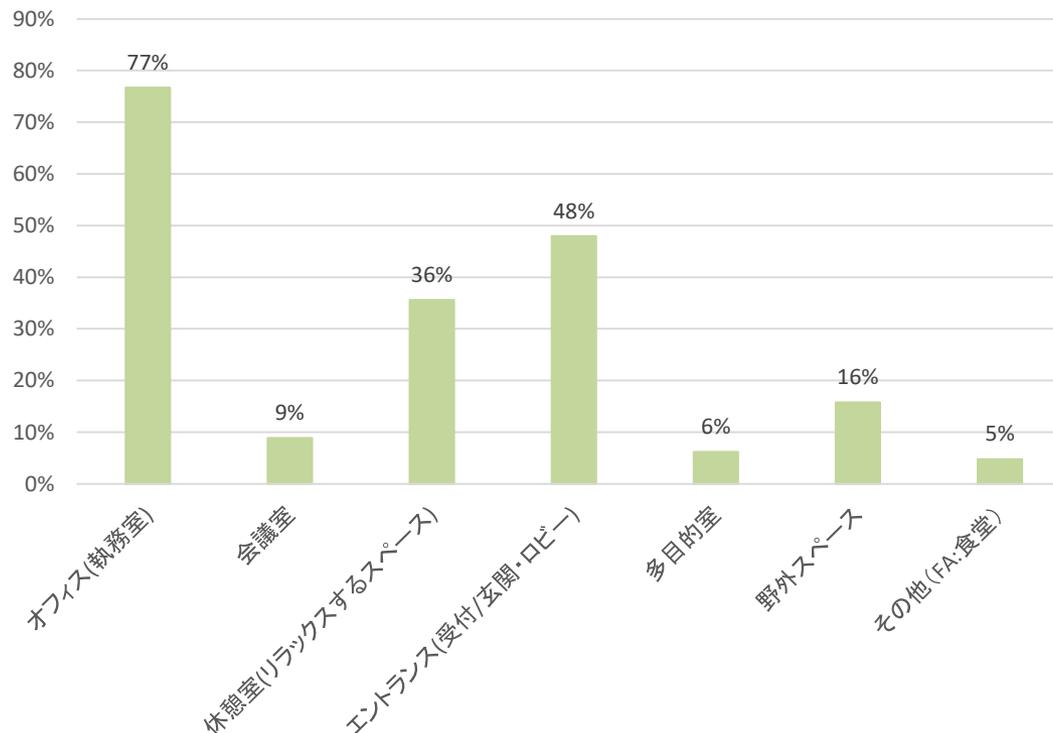
緑や花を見ると明るい気分になります。

Q5 現在の職務環境で緑を実感する場所がありますか

今回の調査協力企業での導入箇所が一番多かった「オフィス（執務室）」での実感が一番高く、次いで「エントランス（受付/玄関・ロビー）」が実感として高い結果となった。

また、野外スペースなどは企業として費用をかけて緑を導入をしていないものの目に入る外の景色の緑から実感していることが推測され、16%の回答があった。

※全体（n=146） [MA]



Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか

職務環境での緑の効果として、6項目のうち、特に実感値が高いものとしては、「落ち着きのある空間」「居心地の良さ」「リラックス/気分転換」の3項目となった。

※全体 (n=146) [SA]

項目	全くない	ほぼない	どちらとも言えない	実感する	とても実感する
モチベーション	7	13	61	54	11
集中/生産性	6	10	69	52	9
リラックス/気分転換	3	2	24	79	38
居心地の良さ	2	1	22	76	45
自然な明るさ	1	4	30	81	30
落ち着きのある空間	2	0	15	89	40

Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（モチベーション1/2）

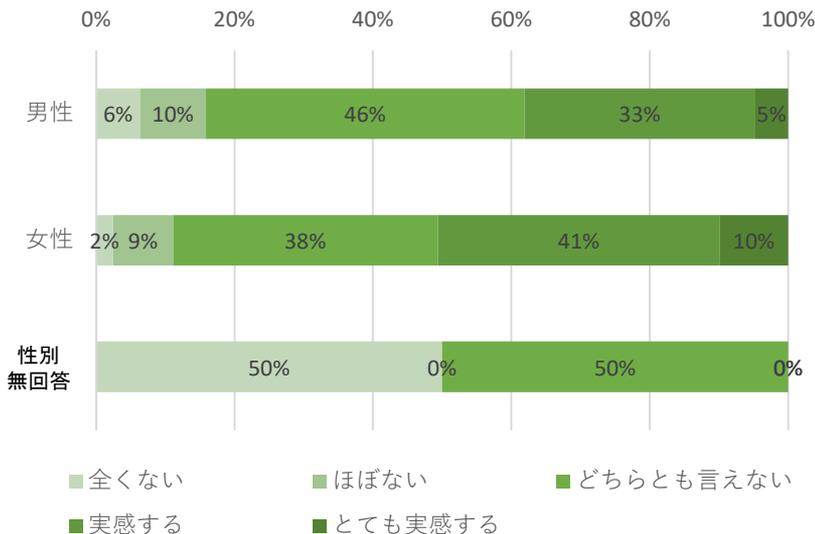
※全体（n=146） [SA]



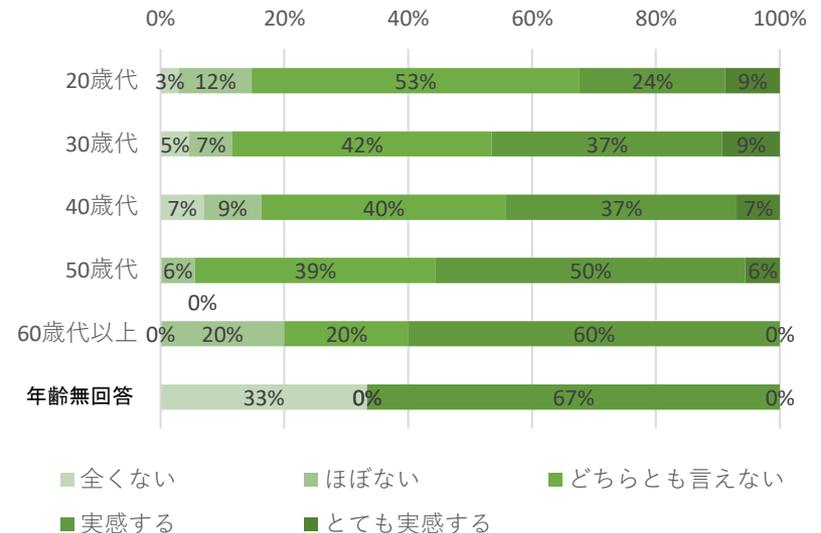
45%の方が、モチベーションのプラス効果を実感している結果となった。
特に、女性でその効果を感じている割合が多く、また50代・60代でモチベーションへの効果を感じている割合が多い。

■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

※男女別（n=146）

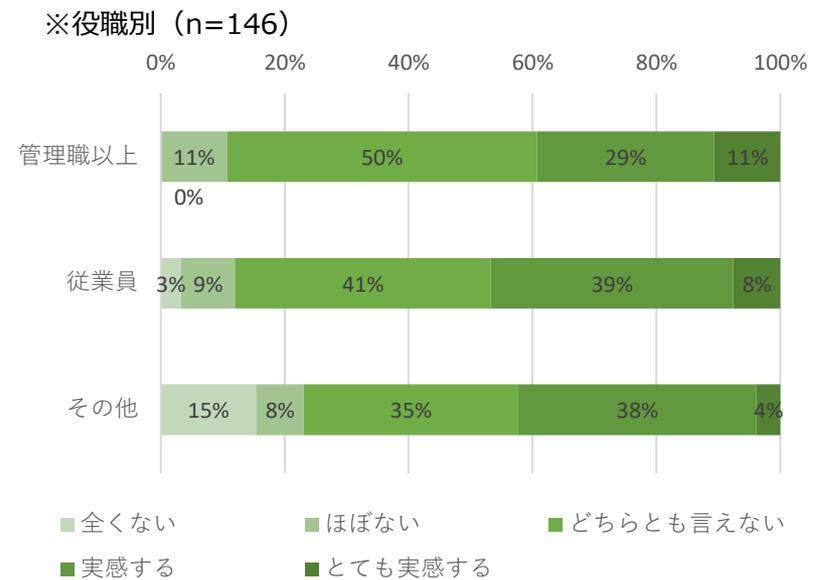
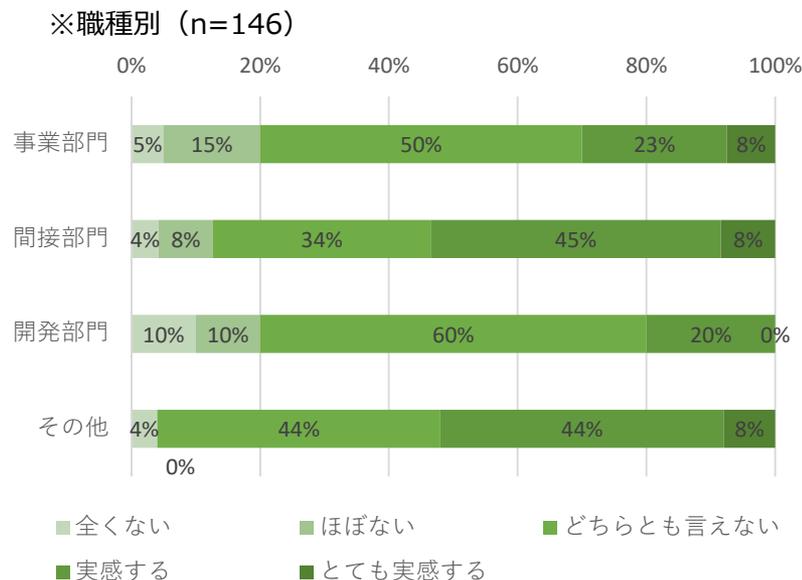


※年代別（n=146）



Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか。(モチベーション2/2)

職種別に見ると、特に間接部門（総務/人事、経理、経営企画）でモチベーション向上を実感している割合が多く、また役職別にみると、管理職以上に比べ、従業員の方が効果を感じている結果となった。



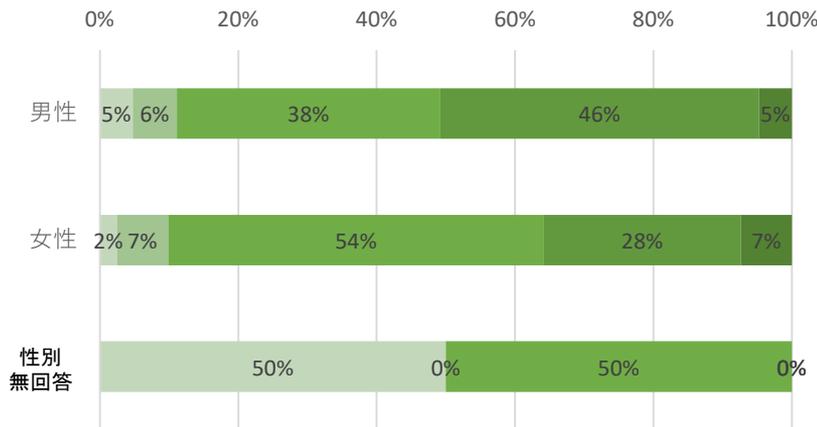
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（集中・生産性1/2）

※全体 (n=146) [SA]



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらもとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

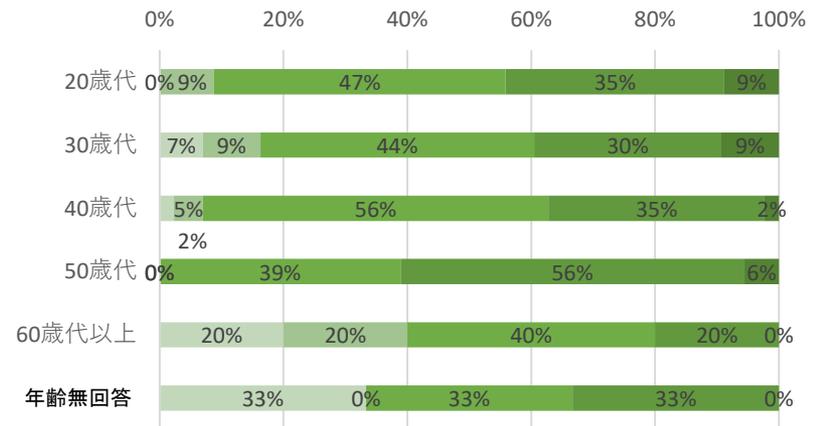
※男女別 (n=146)



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらもとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

42%の方が、集中・生産性のプラス効果を実感している。
先述の、「モチベーション」は女性の方が効果を実感している割合が多かったが、本項目では男性の方が実感していることがわかる。また50代・60代で集中・生産性への効果を感じている割合が多い。

※年代別 (n=146)

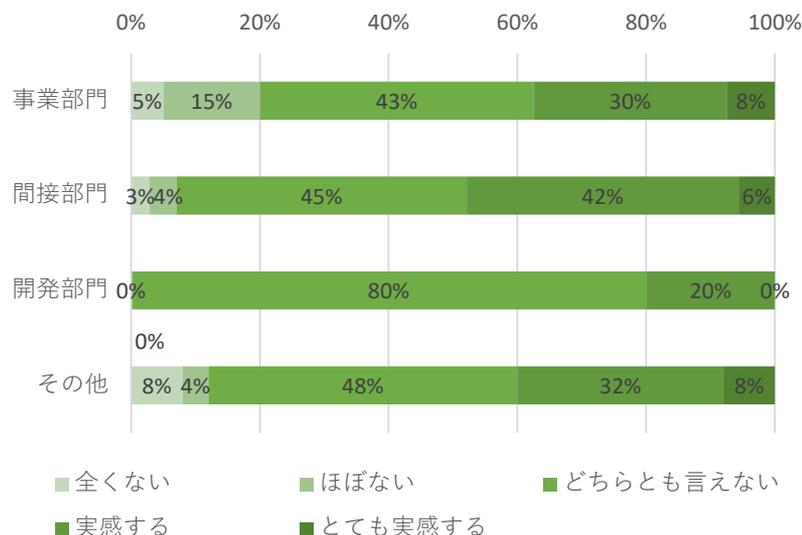


■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらもとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

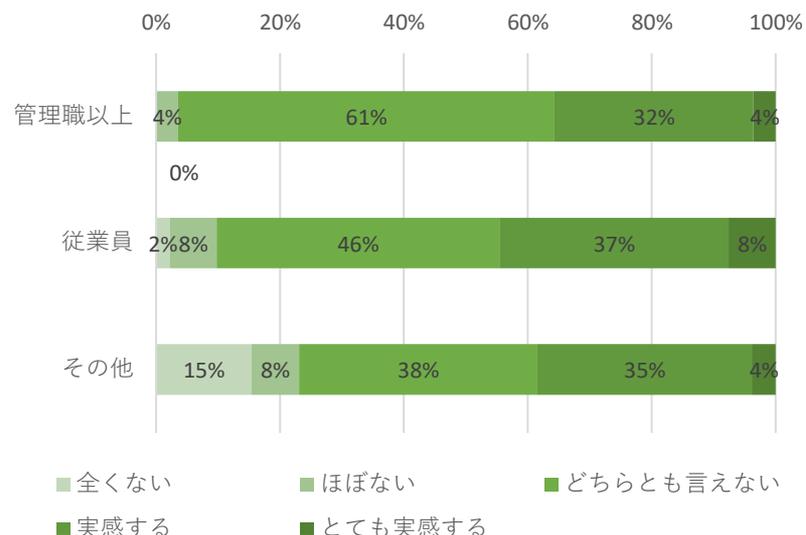
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（集中・生産性2/2）

職種別に見ると、開発部門（システム部門含む）で集中・生産性向上を実感している割合が多い。
 先述の「モチベーション」項目と同じく、管理職以上に比べ、従業員の方が効果を感じている結果となった。

※職種別（n=146）



※役職別（n=146）



Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（リラックス・気分転換1/2）

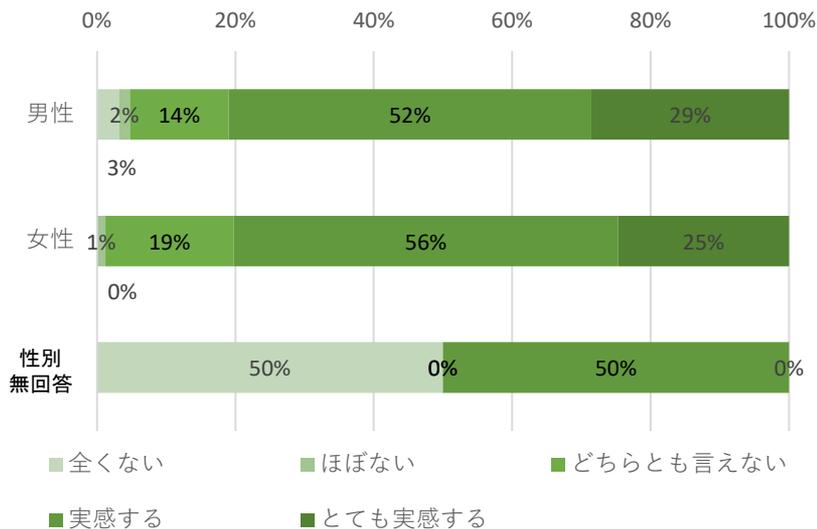
※全体（n=146） [SA]



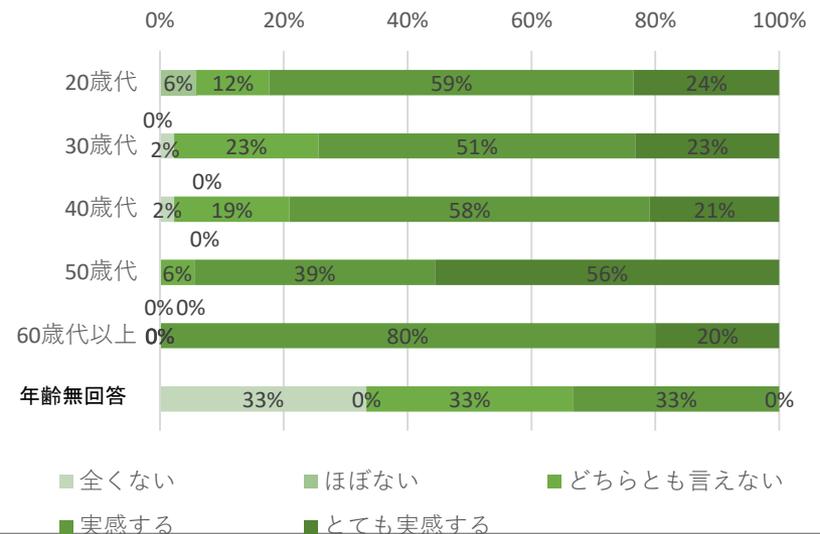
80%の方が、緑による
リラックス/気分転換の効果を実感している。
特に男女差はなく、
20代・30代・40代では約80%、
50代・60代ではほぼ全員が効果を感じている。

■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

※男女別（n=146）



※年代別（n=146）

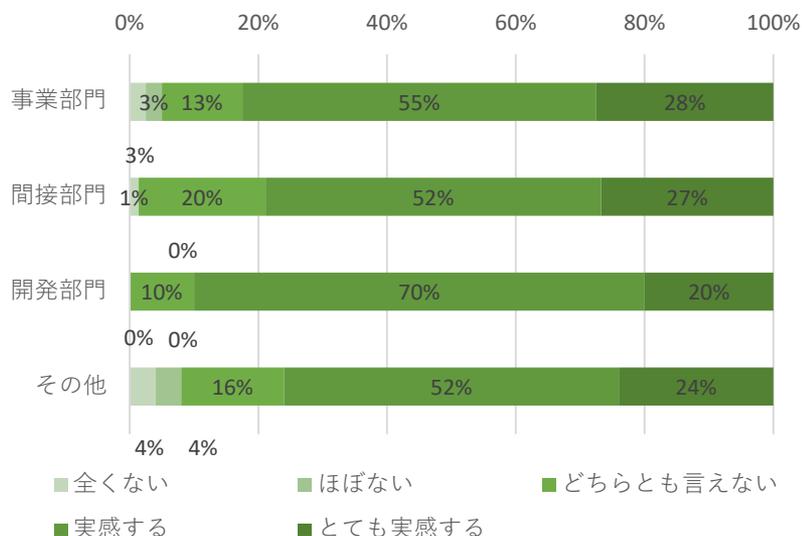


■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

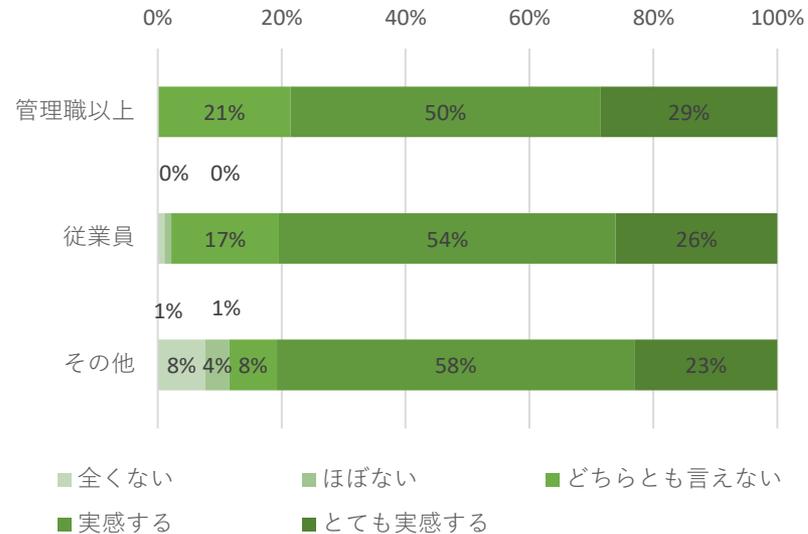
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（リラックス・気分転換2/2）

前述の、「モチベーション」「集中/生産性」項目ではあまり緑の効果を感じていなかった開発部門について、本項目では特に効果を感じている方の割合が多く、90%の方が効果を感じている。同じく、前述の2項目では従業員の方が緑の効果を感じている割合が多かったが、「リラックス/気分転換」の項目では、管理職以上・従業員ともにほぼ同じ80%の方が効果を感じているとの結果となった。

※職種別（n=146）

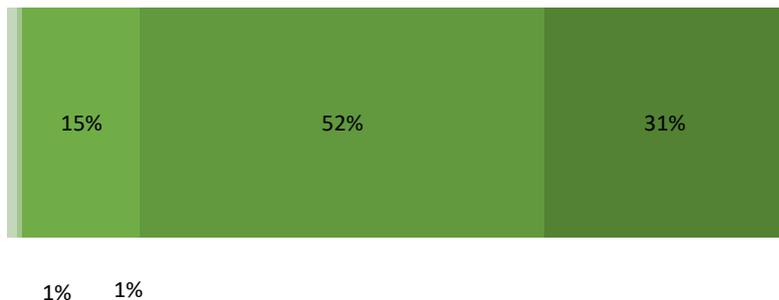


※役職別（n=146）



Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（居心地の良さ1/2）

※全体（n=146） [SA]



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

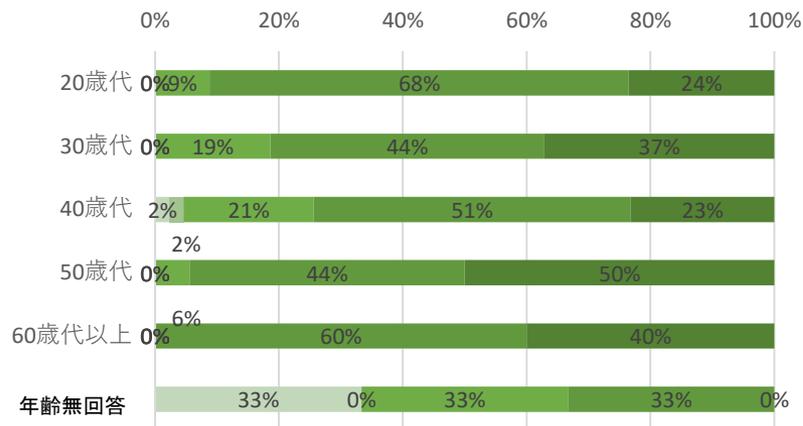
※男女別（n=146）



■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

73%の方が、居心地の良さの効果を実感している。緑による6つの効果（32P参照）の中では、3番目に効果を感じている結果となった。男性の方がその割合は多い。特に50代・60代では9割以上がその効果を実感しているようだ。

※年代別（n=146）

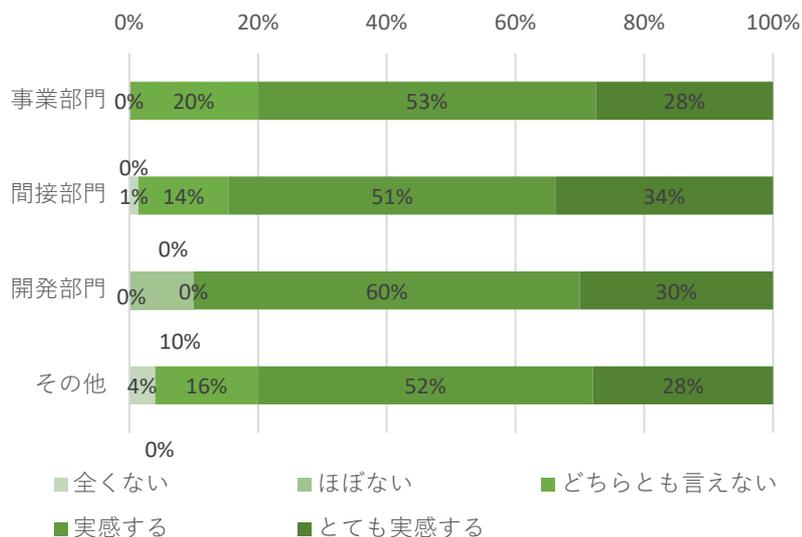


■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

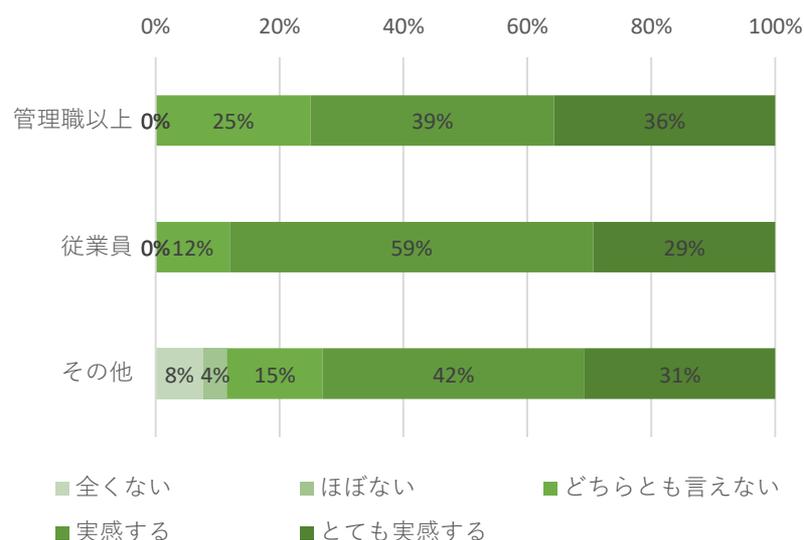
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（居心地の良さ 2 / 2）

職種別に比較すると、全部門で8割を超える方が緑による、居心地の良さを感じている。「モチベーション」「集中・生産性」に比較すると、職種ごとの差異が少ないことが見える結果となった。

※職種別 (n=146)

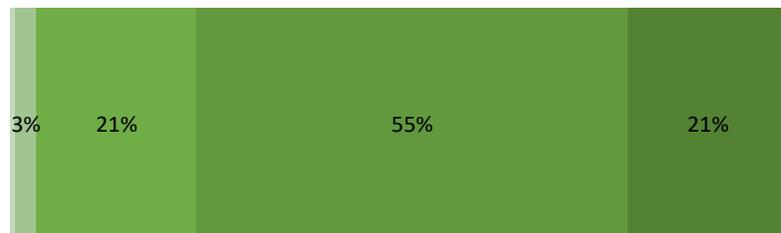


※役職別 (n=146)



Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（自然な明るさ1/2）

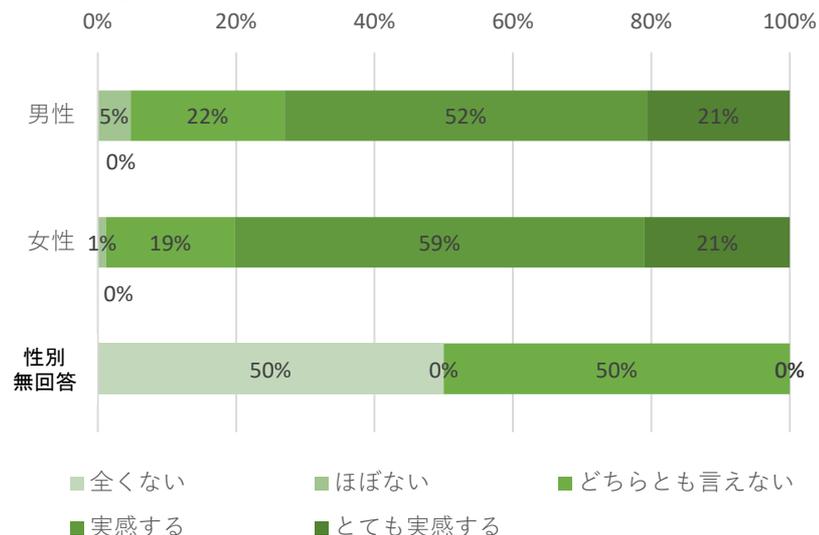
※全体（n=146） [SA]



1%

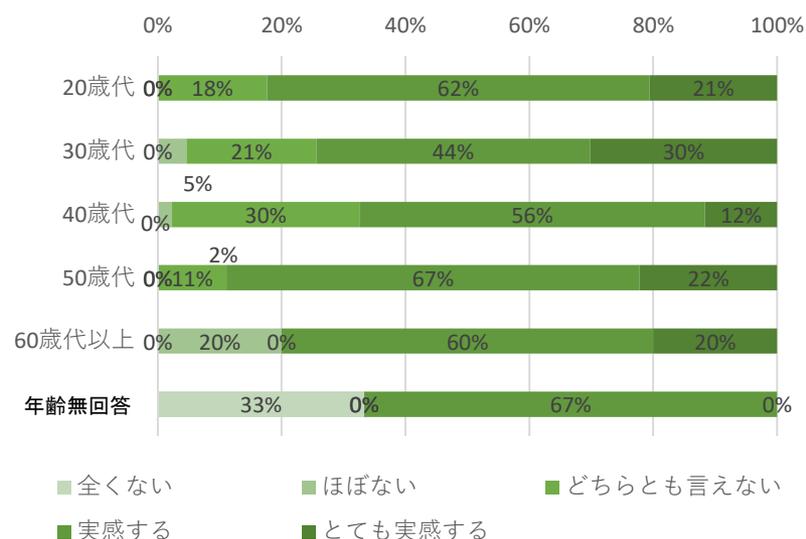
■ 全くない ■ ほぼない ■ どちらとも言えない
■ 実感する ■ とても実感する

※男女別（n=146）



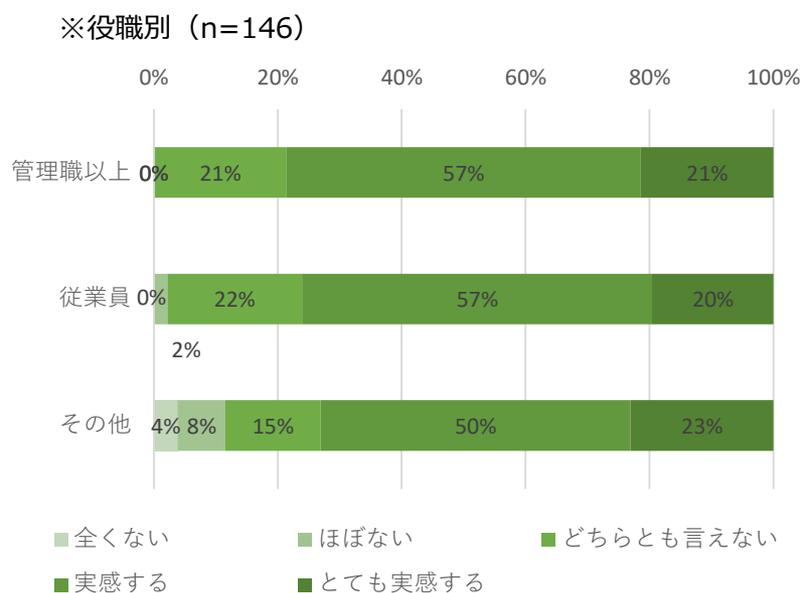
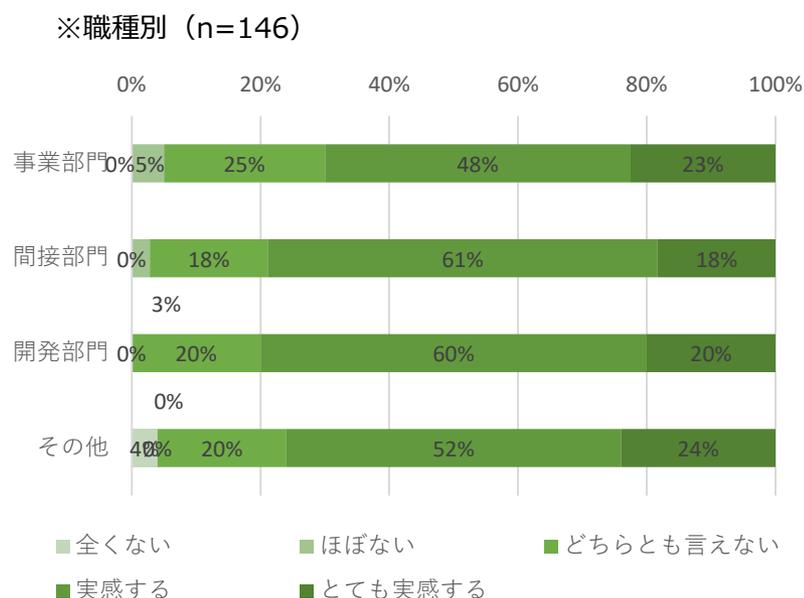
76%の方が、自然な明るさの効果を
実感している。女性の方がその割合は多い。
50歳代・60歳代では、全体の8割以上が
効果を感じている結果となった。

※年代別（n=146）



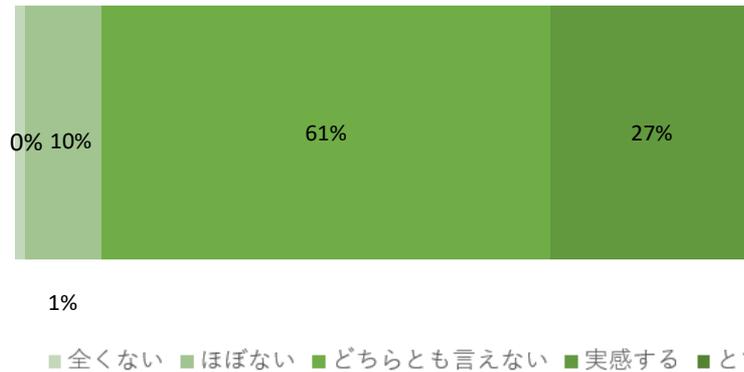
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（自然な明るさ 2 / 2）

間接部門・開発部門ではほぼ同じく8割以上の方が効果を感じているが、事業部門では若干その割合が低い傾向があった。
管理職以上・従業員はほぼ同じ7割強の方が効果を感じている結果となった。



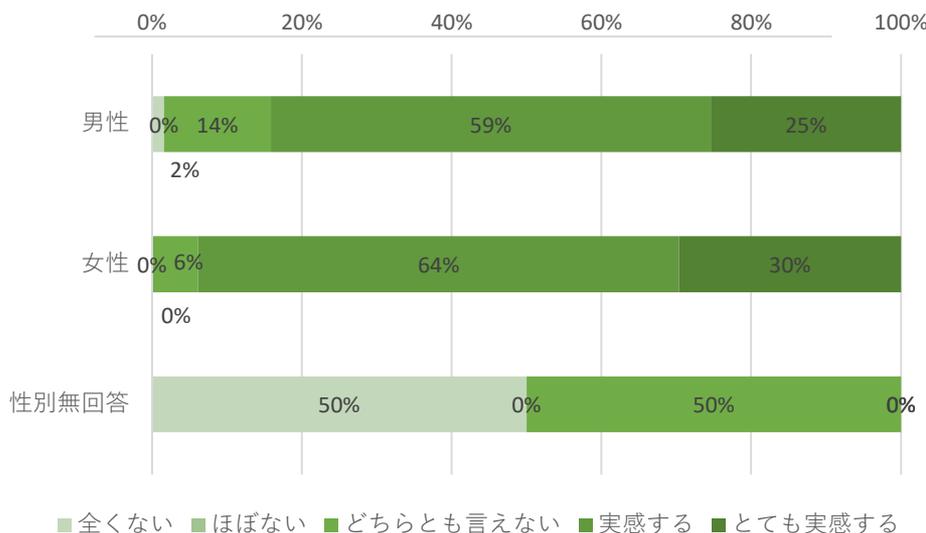
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（落ち着きのある空間1/2）

※全体 (n=146) [SA]

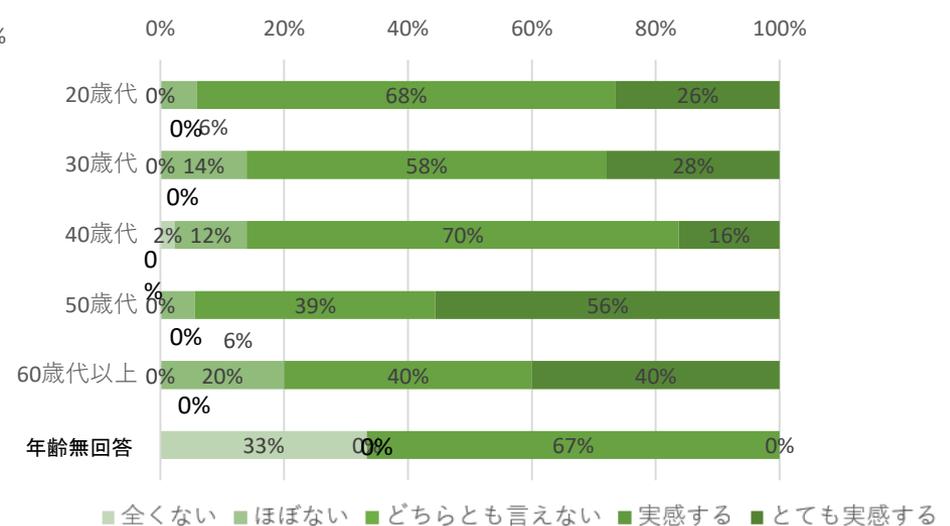


今回調査した緑による効果6つのうち、最も効果があると感じた人が多かったのが、この「落ち着きのある空間」項目である。特に女性でその割合が多かった。

※男女別 (n=146)



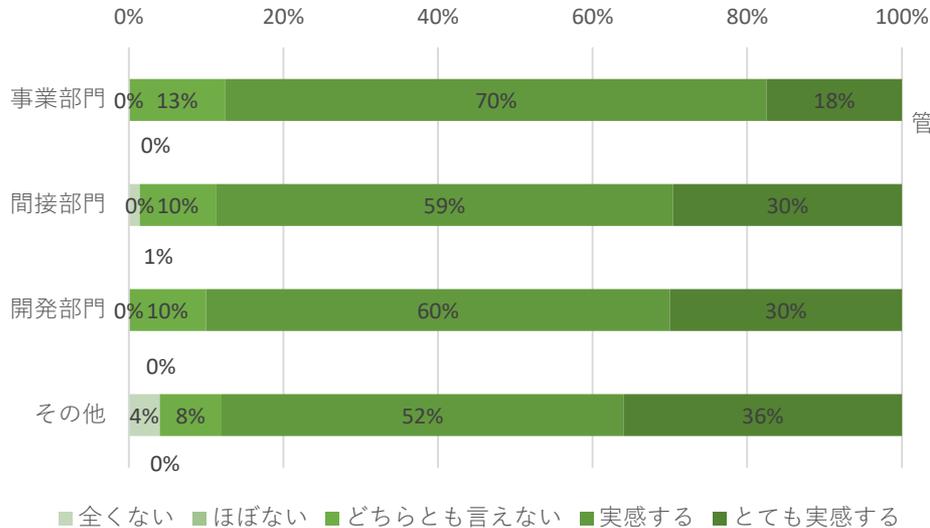
※年代別 (n=146)



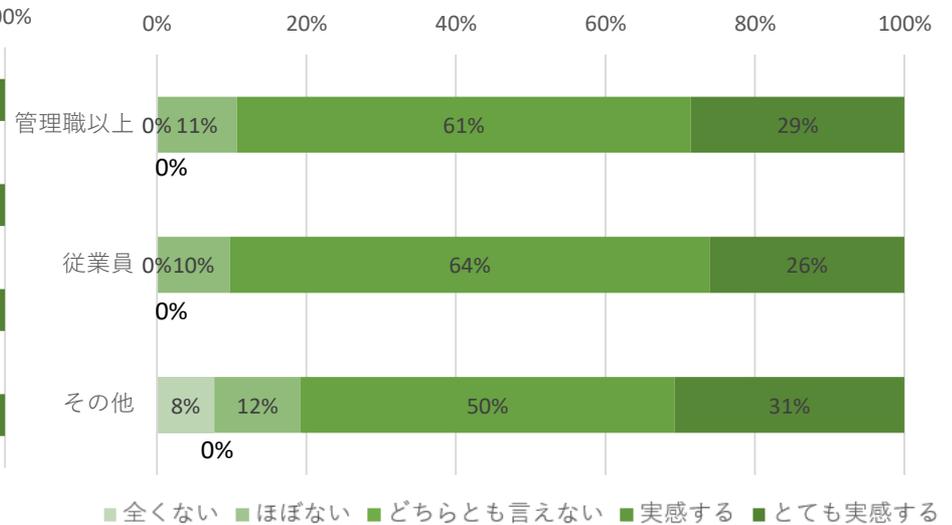
Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（落ち着きのある空間2/2）

「落ち着きのある空間」については、部門や役職による差異はあまり見られず、8割以上がプラス効果を感じている結果となった。

※職種別 (n=146)



※役職別 (n=146)



Q6 職務環境では、緑のどんな効果を実感していますか（FA）

その他の回答（FA）

ストレス解消・調和をもたらす

リラックス効果は実感できる。

外部からの反応が良い。

休憩の場所にしかないため、生産性やモチベーションの維持というより、休息に近い。

執務環境での緑はじゃまにならない程度が良いと考えている。

植物は問題ないが、ケアをされる時に集中力がとぎれがち。

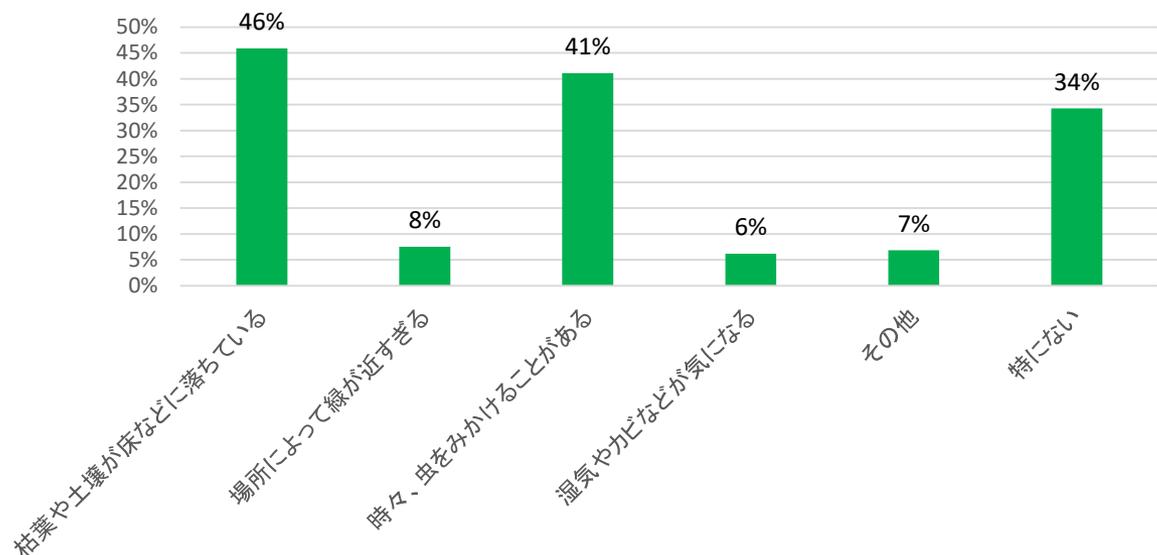
緑のエネルギーを感じ活力になります。

和む。

Q7 職務環境にある緑について気になる点がありますか

「枯葉」や「虫」が気になるという回答が上位の結果であった。
一方で34%の方は「特にない」を選択しており、「枯葉」や「虫」も含めて
特段気になっていない方が3割以上いるという結果となった。

※全体 (n=146) [MA]



その他の回答 (FA)

このレベルの緑化で効果があるとはあまり思えない。

メンテナンス後、机があれている。

メンテナンス費用がかかる。

花が落ちた時の花粉汚れ

空調に直接風が当たり、枯れたり元気がなくなるのが早いように感じるのかわいそう。風の向きなどを変えられたら(もしくは当たらないようにできれば)と思います。

元気がない時がある。

成長状況

生育状況が悪いものがあると気分が悪い。

多すぎると暗い。

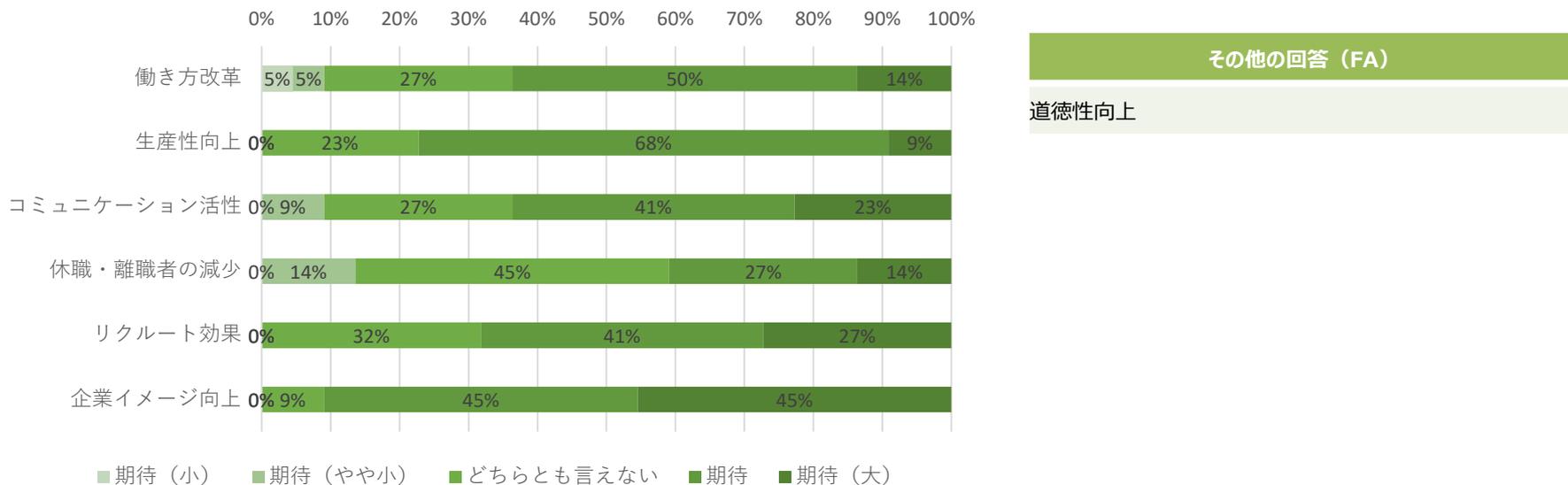
日々メンテナンスが必要。

Q8 緑の導入によりどんな効果を期待していますか※導入窓口部門のみ

【期待大】の項目での回答では「企業イメージ向上」、次いで「リクルート効果」、3番目に「コミュニケーションの活性」の結果であった。

【期待】の項目でみると「生産性の向上」、「働き方改革」が上位の結果となった。

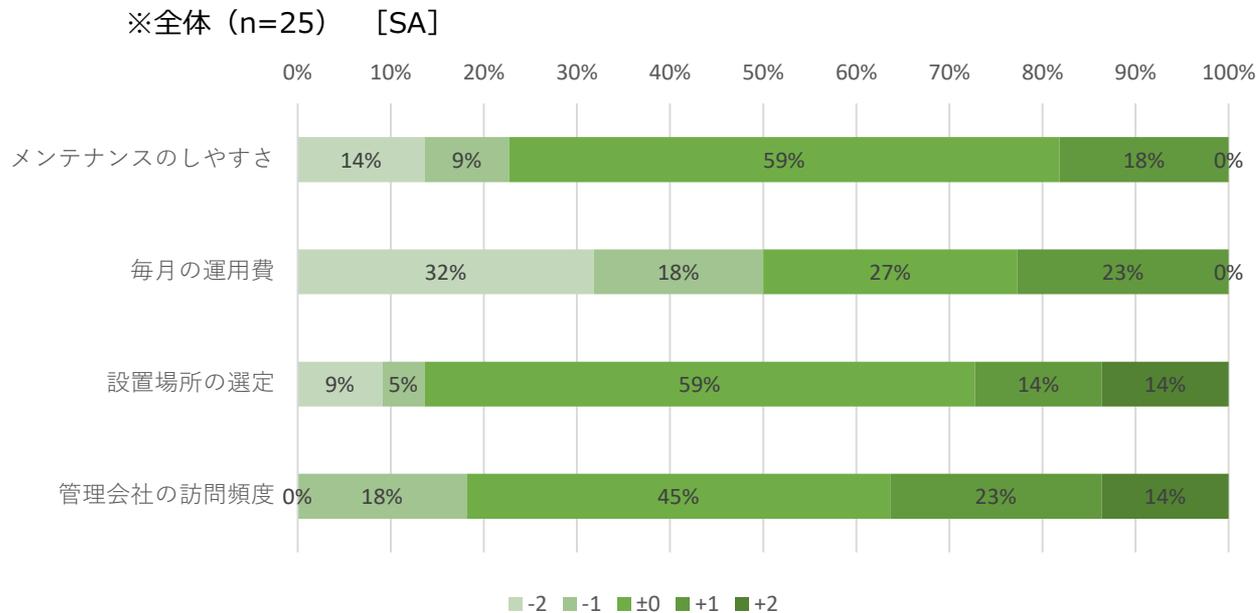
※全体 (n=25) [SA]



Q9 緑の維持管理について、どのように感じていますか※導入窓口部門のみ

「毎月の運用費」に関しては【どちらともいえない（0）】が27%、【ややリーズナブルと感じる（+1）】が23%に対し、【やや高いと感じる（-1）】と【高いと感じる（-2）】の合計が50%という結果となった。

その他各項目は、どちらとも言えないという回答が多数を占めた。



※参照

メンテナンスのしやすさ

手間がかかる		どちらとも言えない		手離れがよい
-2	-1	±0	+1	+2

毎月の運用費

高いと感じる		どちらとも言えない		リーズナブルと感じる
-2	-1	±0	+1	+2

設置場所の選定

難しい		どちらとも言えない		容易
-2	-1	±0	+1	+2

管理会社の訪問頻度

不足		どちらとも言えない		適切
-2	-1	±0	+1	+2

Q10 職務環境における緑の導入についてのあなたの総合評価を教えてください

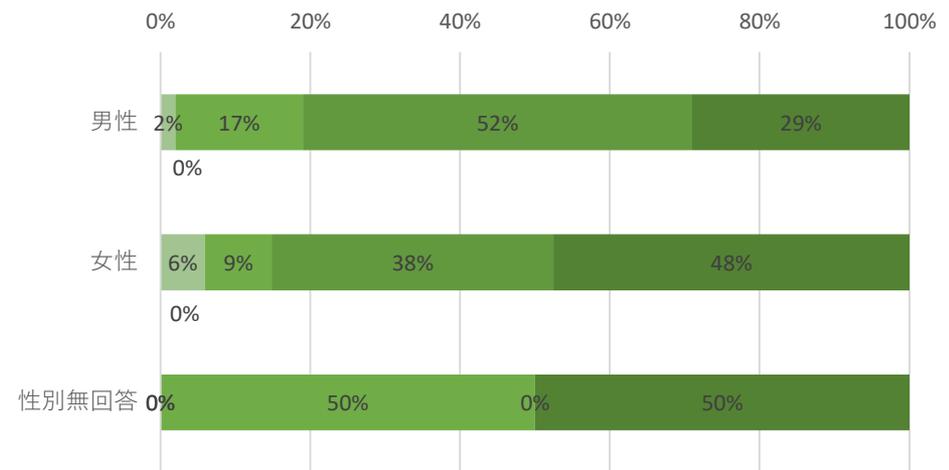
【満足】、【とても満足】の合計が82%と総合評価は高い結果となった。
男女差でみると男性の【とても満足】が29%に対して、女性の【とても満足】が48%と高い傾向にあった。

※全体 (n=145、無回答1) [SA]



■ とても不満 ■ 不満 ■ どちらとも言えない ■ 満足 ■ とても満足

※男女別 (n=145、無回答1)



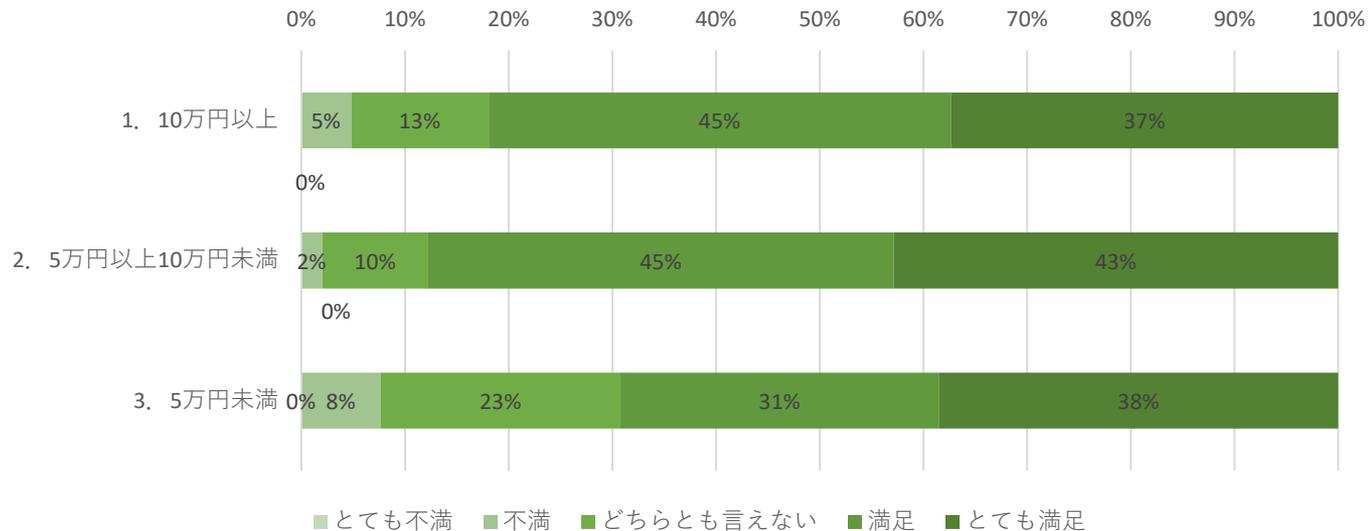
■ とても不満 ■ 少し不満 ■ どちらとも言えない ■ 少し満足 ■ とても満足

Q10 職務環境における緑の導入についてのあなたの総合評価を教えてください

月額メンテナンス費用別の総合評価をみると【満足】、【とても満足】の合計では5万円以上で評価が高い傾向にあった。

一方で【とても満足】だけみると5万円未満でも38%と、10万円以上の37%と比較して高い結果となった。

※全体 (n=145、無回答1) [SA]

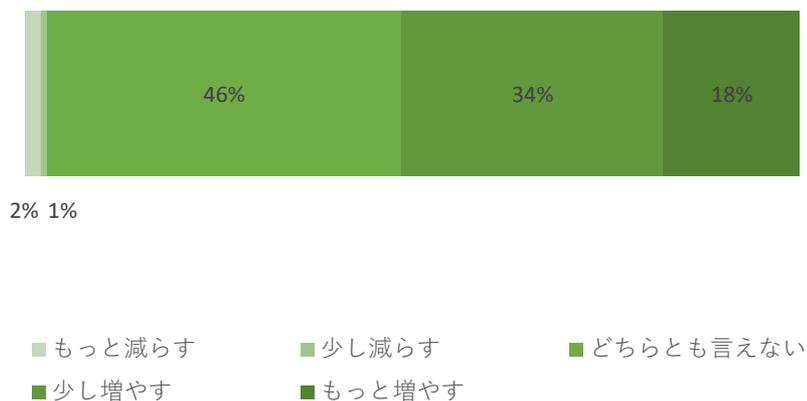


Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（設置場所）

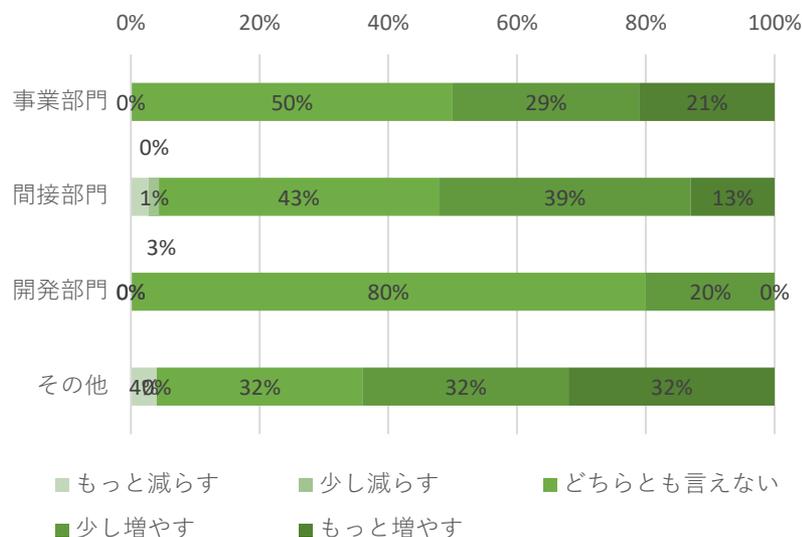
全体の5割の方が設置場所を増やしたいと考えている。

職種別に見ると、特に間接部門（総務/人事、経理、経営企画）でその割合が多い結果となった。

※全体（n=142、無回答4） [SA]



※職種別（n=142、無回答4）



Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（緑の量）

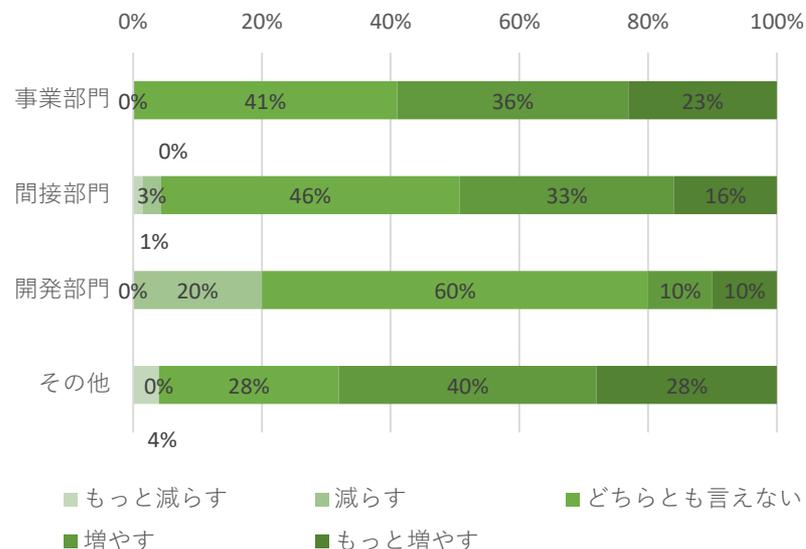
前述の設置場所とほぼ同じく、全体の5割の方が緑の量を増やしたいと考えている。ただ、職種別に見てみると、先述の「設置場所」については間接部門（総務/人事、経理、経営企画）でその割合が多かったのに比べ、本項目では事業部門（営業、企画、マーケティング、広報）の方が割合が多い結果となった。

※全体（n=143、無回答3） [SA]



■ もっと減らす ■ 減らす ■ どちらとも言えない
■ 増やす ■ もっと増やす

※職種別（n=143、無回答3）



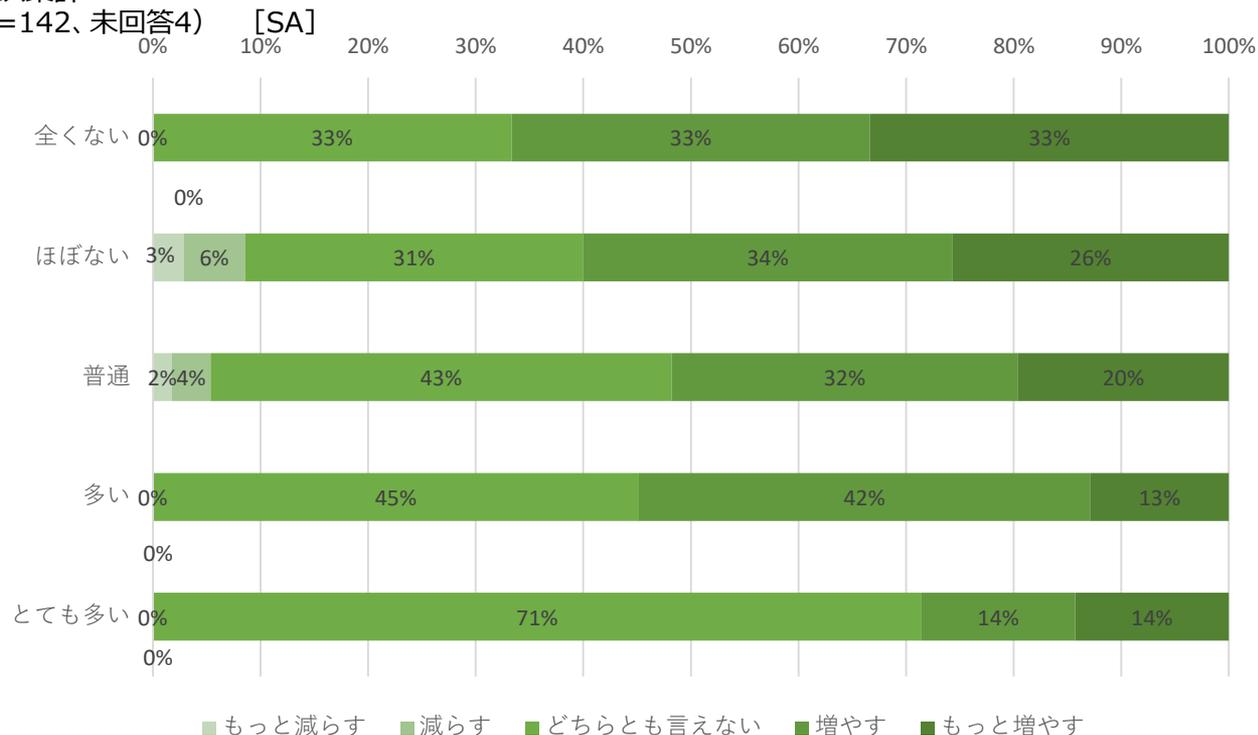
■ もっと減らす ■ 減らす ■ どちらとも言えない
■ 増やす ■ もっと増やす

Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（緑の量）

Q1で、普段緑と接する頻度について【全くない】【ほぼない】と回答した方のうち、職場の緑の量を【増やす】【もっと増やす】と回答した割合は6割以上との結果となった。普段緑と接する頻度が【多い】【とても多い】方に比べるとその割合は多く、職場環境での緑が、興味関心を引き上げている可能性があることがわかった。

※Q1とのクロス集計

全体 (n=142、未回答4)



Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（緑の種類）

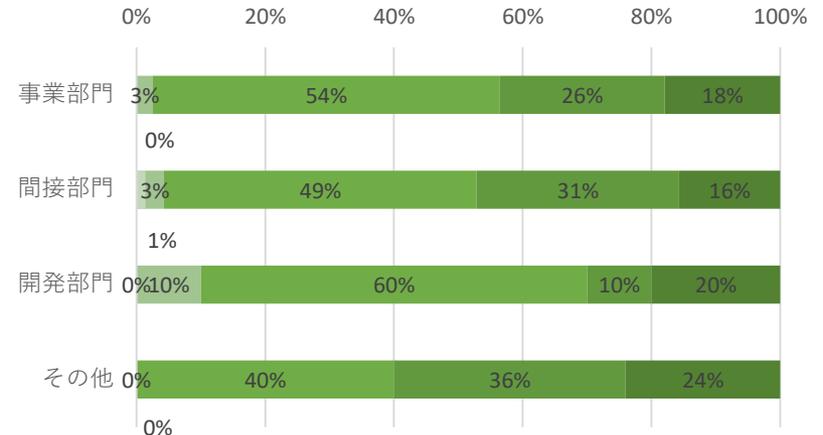
緑の種類を【増やす】【もっと増やす】と回答した方は全体の47%という結果となった。
 先述の、設置場所・緑の量に比較すると、どの職種においても緑の種類はそれほど重視しない傾向が見える結果となった。

※全体（n=144、無回答2） [SA]



■ もっと減らす
 ■ 減らす
 ■ どちらとも言えない
■ 増やす
 ■ もっと増やす

※職種別（n=144、無回答2）

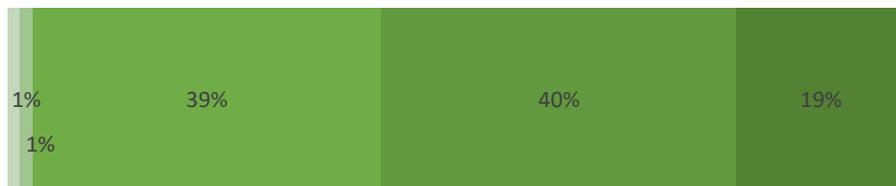


■ もっと減らす
 ■ 減らす
 ■ どちらとも言えない
■ 増やす
 ■ もっと増やす

Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（視線に入る緑）

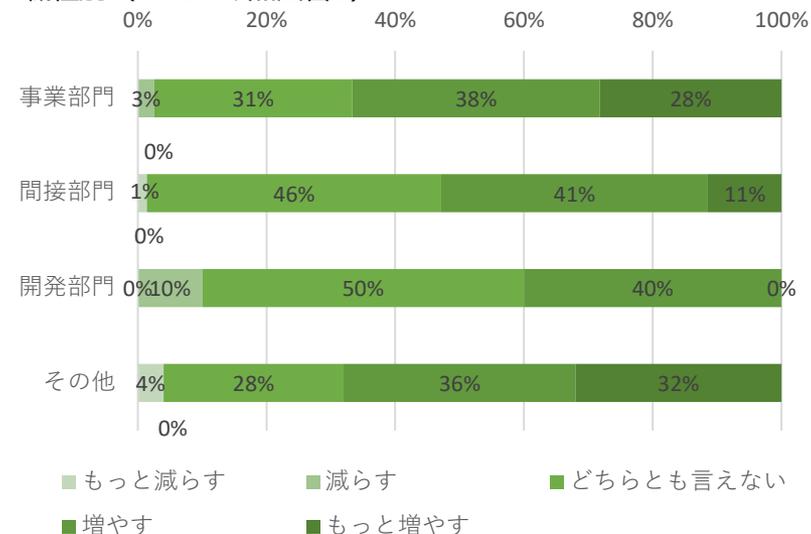
視線に入る緑については、約6割の方が【増やす】【もっと増やす】と回答している。職種別に見ると、特に事業部門では最もその回答が多い結果となった。事業部門は、先述の「緑の量」でも【増やす】【もっと増やす】と回答した割合が多く、特に身近な緑を増やすことに改善希望を持っている方が多い可能性があることが分かった。

※全体 (n=144、無回答2) [SA]



■ もっと減らす ■ 減らす ■ どちらとも言えない ■ 増やす ■ もっと増やす

※職種別 (n=144、無回答2)



■ もっと減らす ■ 減らす ■ どちらとも言えない
■ 増やす ■ もっと増やす

Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（視線に入る緑）

Q1で、普段緑と接する頻度について【全くない】【ほぼない】と回答した方のうち、視線に入る緑を【増やす】【もっと増やす】と回答した割合は約7割という結果になった。先述の「緑の量」と同じく、普段緑と接する頻度が【多い】【とても多い】方に比べるとその割合は多く、オフィス緑化を通じて、より身近に緑と接することへの関心が向上している様子が見える結果となった。

※Q1とのクロス集計（n=144、無回答2）



Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（他の機能：音・空調・日差しなど）

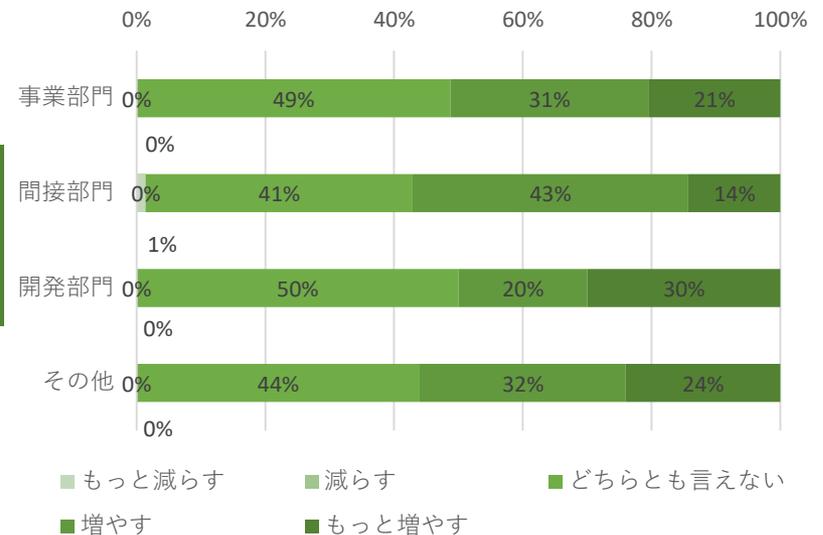
「他の機能：音・空調・日差しなど」の改善を希望する方は55%となった。
 部門別に見ると、特に開発部門で他項目よりも本項目を「増やす」「もっと増やす」と回答した割合が多い。部門毎に傾向がわかる結果となった。

※全体（n=144、無回答2） [SA]



■ もっと減らす ■ 減らす ■ どちらとも言えない ■ 増やす ■ もっと増やす

※職種別（n=144、無回答2）



■ もっと減らす ■ 減らす ■ どちらとも言えない ■ 増やす ■ もっと増やす

Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（FA）

「花」や「植物の種類」を増やして欲しい、「季節感」を感じたいといった働く場所を自然環境に近づけたいという要望が読み取れた。また、「導入場所」を増やして欲しい、「動線」に緑があると良いといった導入場所の拡大やより身近に感じらる場所への設置の要望があった。

- お花もあれば嬉しいです。
- グリーンの色が濃く、形状も微妙なので、もう少しおしゃれなものが選べるとうれしい。
- 他の種類と交換できると良い。
- 年中、同じ緑で季節感がない。長持ちする植物の種類が多くなればと思う。飾りつけ方法のレパートリー等の変化には限界があるのか。
- 自ら視界に入れようとしないう限り視界に入らない。動線に自然と緑があると良い。
- オフィスの一部分は緑が増えたが部分的。もう少しいろいろな場所に増やして欲しい。
- トイレ・リラックススペースの緑がもっと増えると良いと思います。
- 個人のスペースにも入り込んで欲しい（どうせやるなら）。
- 職場には満足しているので、他のスペース(食堂、他部門の職場)にも緑が増えるとより良いと思う。

Q11 何を改善すると、あなたの評価はよくなりますか（FA）

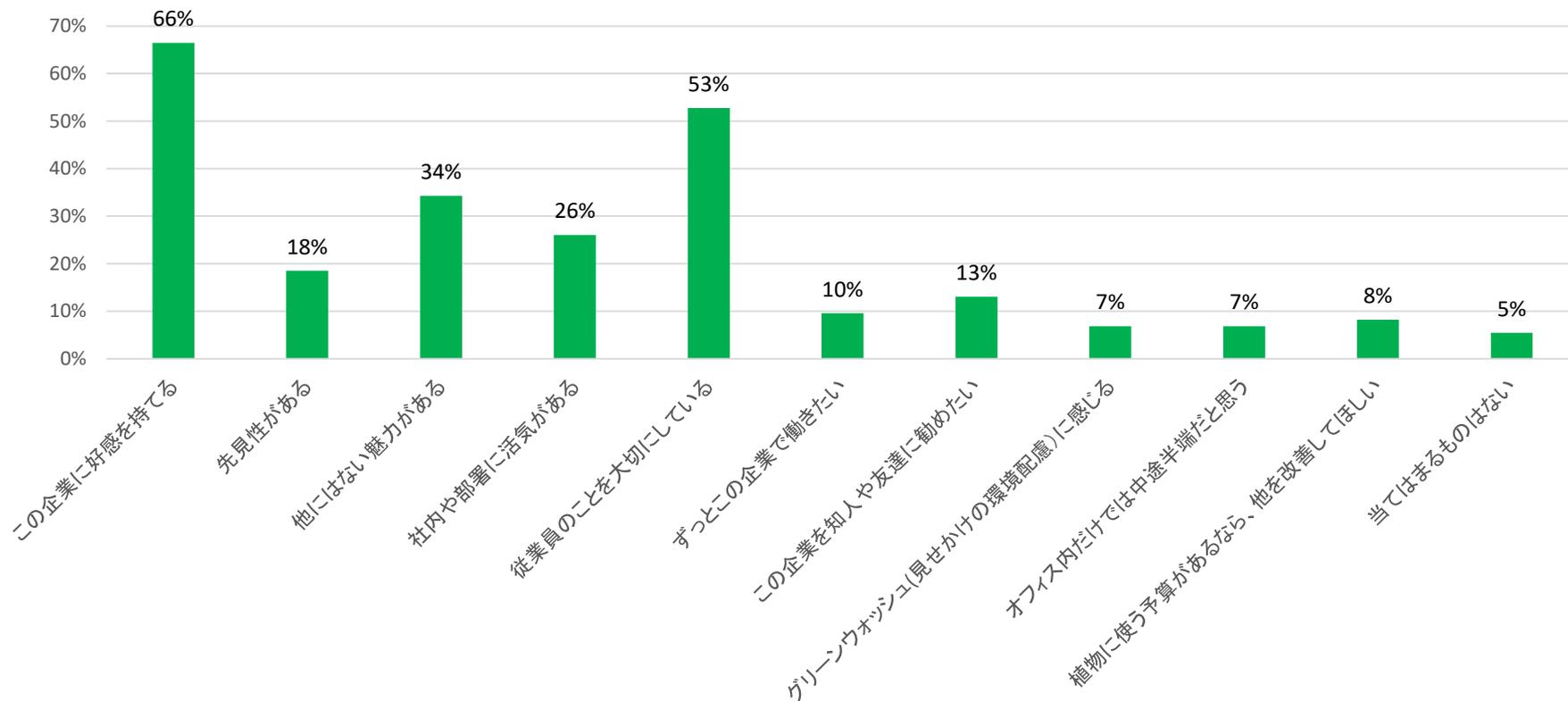
一方で「枯れ葉」や「虫」が気になる、「導入コスト」の改善要望があった。また、「植物の育成環境」の改善や「植物の名前を記載してほしい」といった植物の育成環境への配慮や興味関心がみられた。

- 空調の当たり方が改善されるといいのではと思います。
- 乾燥が気になる。
- 陽当たりの悪い所での対応が必要。
- 現状でほぼ充足。
- 現状に満足しています。
- 植物の名前を記載してほしい。
- オフィスが緑によって分断されてしまい別会社のようになっている。
- のびてきて、デスクの範囲が狭くなっている場所があるので、そこは調整したほうがよいと思う。
- 枯れた葉や伸びているつるが気になる事があります。
- 光量不足の場所に設置した場合、枯れる等の問題が発生しやすくなるので、何らかの改善が必要となる。
- 葉っぱが床に落ちていることが気になったので、葉が落ちにくい植物にすればよりよくなるのではないか。
- 落ち葉、虫の除外。
- 枯れ、導入コスト。

Q12 緑化に積極的に取り組む企業についての印象に当てはまるものを教えてください

「この企業に好感を持てる」、「従業員のことを大切にしている」、「他にはない魅力がある」の3つが上位の回答となった。

※全体 (n=146) [MA]



Q13 職務環境に緑があることは、どの程度重要だと思いますか

【重要だと思う】【とても重要だと思う】という回答が84%を占めており、職務環境に緑があることの重要性が高い認識という結果となった。

年代別にみても総じて高い結果であったが、特に50歳代以上の方の回答結果が高い傾向であった。

※全体 (n=146) [SA]



■ 興味がない ■ あまり興味がない ■ どちらとも言えない
■ 重要だと思う ■ とても重要だと思う

※年代別 (n=146)



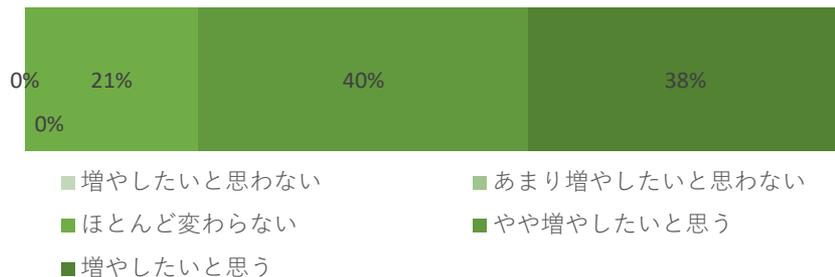
■ 興味がない ■ あまり興味がない ■ どちらとも言えない
■ 重要だと思う ■ とても重要だと思う

Q14 普段の生活において、今後、緑との接触は増やしたいと思いますか

【やや増やしたい】【増やしたい】という回答が78%を占めており、緑への興味関心の増加が読み取れる。【増やしたいと思わない】という回答は0であった。

また、Q1で緑の接触頻度が【ほぼない】【全くない】の回答者41名のうち、34名が【やや増やしたい】【増やしたい】を選択しており同様に興味関心の増加が読み取れる。年代別にみると特に30歳代の【増やしたい】という回答が多くみられる結果となった。

※全体 (n=146) [SA]



※年代別 (n=146)



※Q1とのクロス集計

全体 (n=145、無回答1)

	増やしたいと思わない	あまり増やしたいと思わない	ほとんど変わらない	やや増やしたいと思う	増やしたいと思う
とても多い	0	0	3	2	9
多い	0	0	5	12	14
普通	0	0	16	24	19
ほぼない	0	0	5	17	13
全くない	0	0	2	3	1

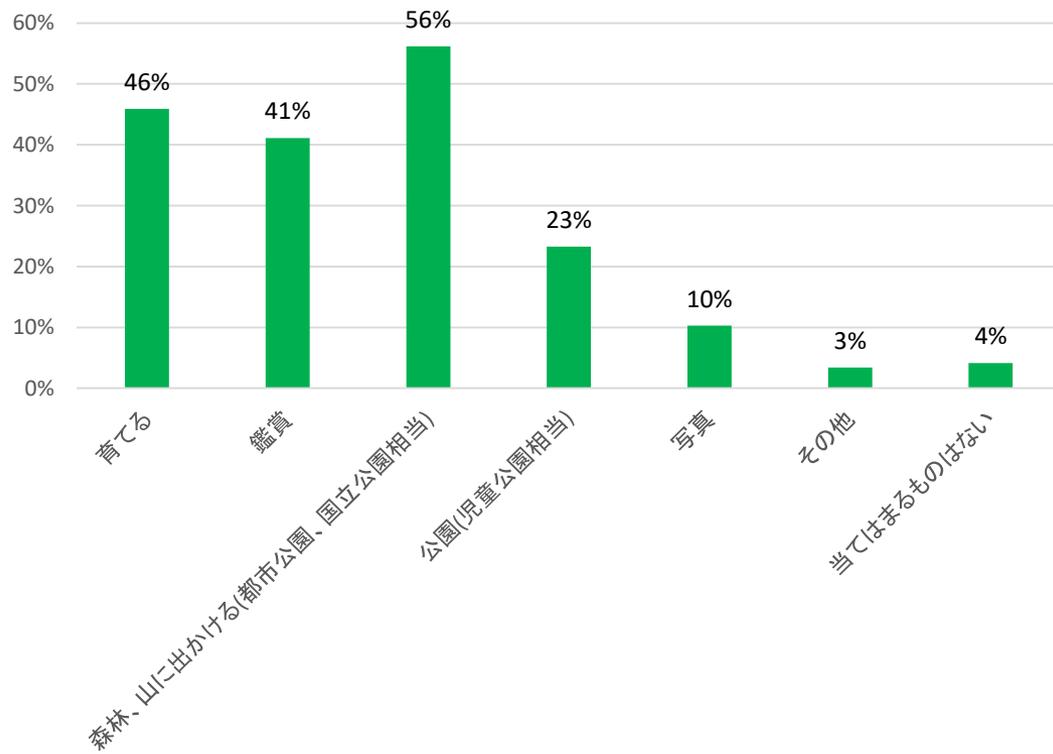
- 増やしたいと思わない
- あまり増やしたいと思わない
- ほとんど変わらない
- やや増やしたいと思う
- 増やしたいと思う

Q15 どのような接し方を増やしたいと思いますか (1/2)

積極的な緑への接し方の項目である「森林、山に出かける」という回答を82名が選択。うち52名はQ2の普段の緑との接し方で森林、山に出かけるという項目にチェックが入っておらず、緑への積極的な関わりへの興味・関心が読み取れる。また、Q1で緑の接触頻度が「ない」「全くない」の回答者41名のうち、25名が選択しており、同様の考察ができる。

※全体 (n=146) [MA]

項目	回答数	回答比率
育てる	67	46%
鑑賞	60	41%
森林、山に出かける (都市公園、国立公園相当)	82	56%
公園(児童公園相当)	34	23%
写真	15	10%
その他	5	3%
当てはまるものはない	6	4%

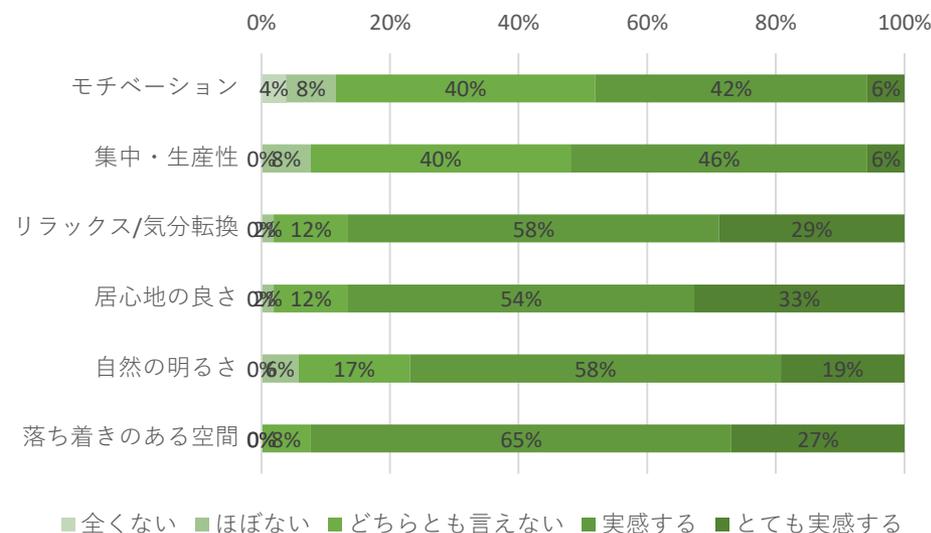


Q15 どのような接し方を増やしたいと思いますか (2/2)

さらに前ページの52名（Q2普段森林・山へ行かない⇒Q15今後は森林・山へ行きたい）が、Q6職務環境での緑の実感についてどのくらいあるかをみたところ、特に「リラックス/気分転換」と「居心地の良さ」で87%、「落ち着きのある空間」で92%と実感度が高かった。ここからも職務環境で緑に触れることで日常での緑への接触頻度を上げたいという気持ちが芽生えるのではないかと推測できる。

※全体（n=52） [MA]

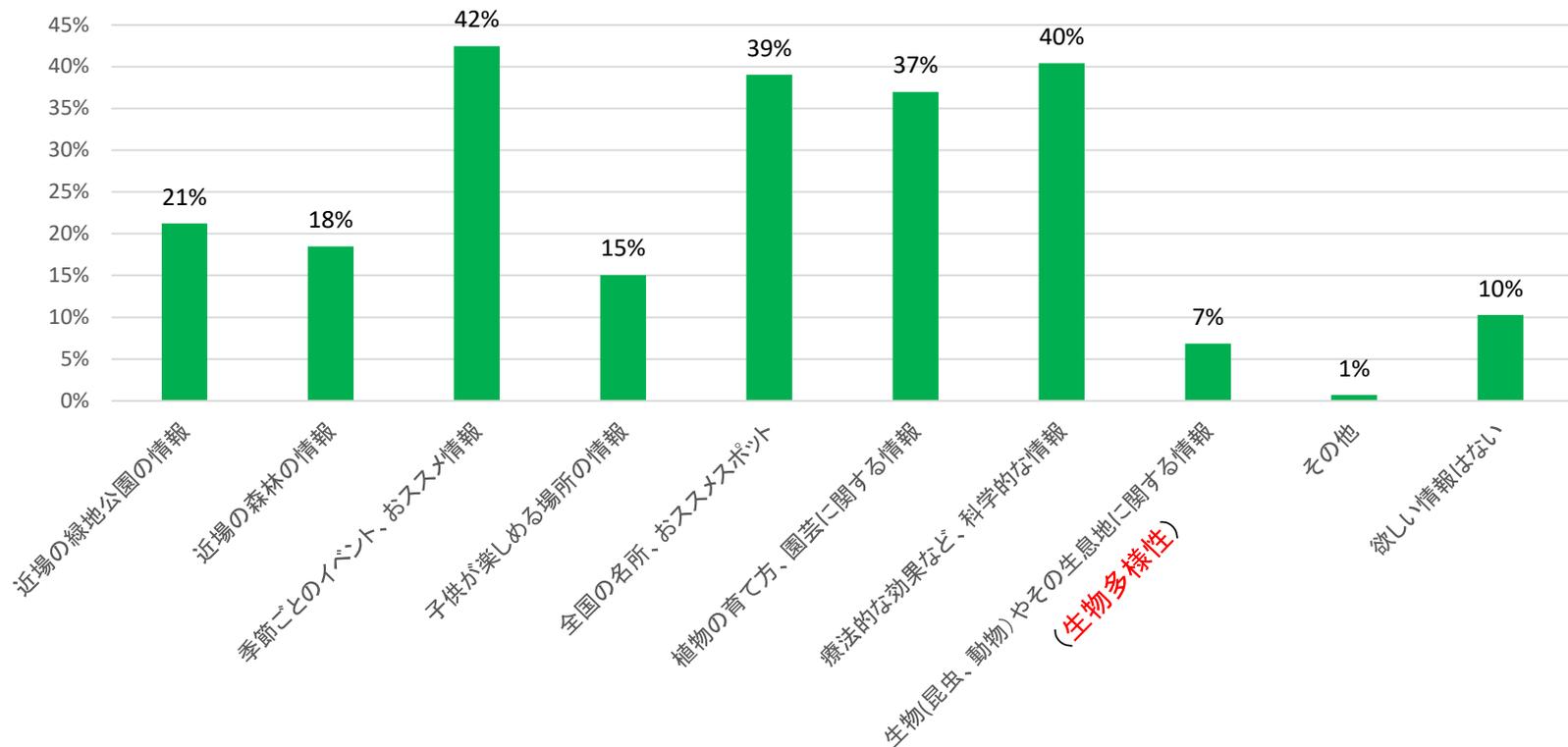
項目	全くない	ほぼない	どちらとも言えない	実感する	とても実感する	総数
モチベーション	2	4	21	22	3	52
集中・生産性	0	4	21	24	3	52
リラックス/気分転換	0	1	6	30	15	52
居心地の良さ	0	1	6	28	17	52
自然の明るさ	0	3	9	30	10	52
落ち着きのある空間	0	0	4	34	14	52



Q16 緑に関して、どのような情報に関心がありますか

「季節ごとのイベント、おすすめ情報」、「療法的な効果など、科学的な情報」、「全国の名所、おすすめスポット」、「植物の育て方、園芸に関する情報」が上位の回答結果であった。

※全体(n=146) [MA]



Q16 緑に関して、どのような情報に関心がありますか

職種別にみていくと事業部門では「療法的な効果など、科学的な情報」、間接部門では「季節ごとのイベント、おすすめ情報」で50%以上の回答があり働く部門によっての関心度の違いがでている結果となった。

※職種別 (n=146)

項目	事業部門	間接部門	開発部門	その他
近場の緑地公園の情報	18%	23%	20%	24%
近場の森林の情報	18%	17%	20%	24%
季節ごとのイベント、おすすめ情報	33%	52%	40%	32%
子供が楽しめる場所の情報	15%	14%	10%	20%
全国の名所、おすすめスポット	38%	41%	30%	40%
植物の育て方、園芸に関する情報	41%	39%	40%	24%
療法的な効果など、科学的な情報	51%	38%	10%	40%
生物(昆虫、動物) やその生息地に関する情報 (生物多様性)	3%	8%	30%	0%
その他	3%	0%	0%	0%
欲しい情報はない	5%	13%	20%	8%

Q17 貴方のオフィスで緑がなされていることで、企業にとってのメリットとなったことがあれば具体的な事例をお聞かせください（1/2）※導入窓口部門のみ

「企業イメージ向上」、「リクルート効果」、「社内が明るくなった」、「風通しが良くなった」と言った事例があがった。

- お客様よりオフィスについてほめられる。採用面接でいい印象を与られている。
- 会社のイメージが良くなった。リクルート効果が大きい。
- 採用面でのイメージアップ。
- 来社されるお客様からオフィスについてほめられる。職場内に緑があると個人的にはリラックスする。
- エントランス(打ち合わせコーナー) に緑があることで、企業イメージアップに貢献していると感じる。
- 環境向上。イメージ印象up
- 緑がなかったオフィスは殺伐としていたが、少し加えることでオフィス内が明るくなった。
- 緑があるだけで、オフィス空間の雰囲気が一変しました。
緑を入れる前はいわゆる一昔前のオフィスだったのが、風通しの良さそうな雰囲気にガラッと変わったように感じます。
- 職場の雰囲気が若干明るくなった。緑の付近での打合せは、多少リラックスしてできるようになったと思う。
- 社内外から注目がアップした。・新オフィス導入前後でアンケートを実施した所、「職場を自慢できる」といった項目が一番アップ度が高まった = 意識レベル向上。
- お客様(対内外)からの注目度が高まったと同時に内に働く従業員の「我が職場」の意識が高まり、働きがいの向上につながっていったと感じる。

Q17 貴方のオフィスで緑化がなされていることで、企業にとってのメリットとなったことがあれば具体的な事例をお聞かせください（2/2）※導入窓口部門のみ

「リラックス効果」、「リフレッシュ効果」、「緑をきっかけにコミュニケーションが増えた」、「ストレス軽減」、「集中力向上」、「緩衝材の働き」と言った事例があがった。

- リラックスできる。程良い目隠しになっている
- リフレッシュ効果がある。名所的な場所の覚えやすさがあり、打ち合わせ場所を決めやすい。
- 仕事時の気分転換になるので、効率が落ちた時にグリーンを見ていやされる。
- オフィス内に植物があることで気持ちが落ち着き、余裕が生まれるという意見を聞いたことがあります。そのように感じる人が増え、仕事の生産性が上がることを信じています。
- 緑をきっかけに会話が生まれ、コミュニケーションが増えた。
- 人をひきつける魅力となる。コミュニケーションのきっかけ。気持ちがいい。
- 緑のリラックス効果で、集中力向上・維持が促進されている
- 心のゆとり。
- 人と人との間で緩衝材の働きをしている。ストレス軽減に役立っていると思う。結果、生産性の向上につながっていると思う。

Q18 オフィスの緑化推進に関する意見、ご要望があればご記入ください（1/3）

「枯葉」、「虫」を中心としたメンテナンスの要望や、
「導入コスト」、「維持コスト」に対する改善意見があがった。

- 1. 枯葉が目立つ。2. 虫を見かけることがある。緑化推進により上記1, 2の改善要望が多い。そうならない観葉植物があればと感じている。
- ペストコントロールは必要。
- 維持メンテナンスが管理しやすい安価になるとよい。
- 育てる人をきちんと決めてちゃんと育てられる環境が必要だと思います。自社では、外部のプロに管理を委託しているので、常にきれいな状態を保っており、とてもありがたいと思っています。
- 衛生面が気になるので、虫がつかないような方法があると良いと思う。
- 夏に虫がわくので困っています。造花でもよいのでは？と思っています。
- 弊社では執務スペースに緑が増え、オフィスの見ばえが大きく変わった。それによってリラックス効果等の良い影響が多くあるとは感じるが、虫の発生や落ち葉などの問題もあるため課題は多くあると感じます。
- オフィス緑化がもっと低コストでできるしくみがあれば導入企業がより増えると思う(今は贅沢品のイメージ)。
- コストがかかるため、すべて本物でなくても少しフェイクを交え工夫してオフィスの中の緑化を進めていただきたいと思います。
- コストへの配慮は必要。(現在の仕組み(当社事例)ではなく、植栽ポッドの配置程度等でも十分効果あるのでは？)
- 工事費・ランニング費をもっと安くして頂けると、様々な企業に導入してもらいやすくなると思います。
- 低コストで導入できればオフィス内の緑化が普及すると思う。
- 費用をかけずに「映える」オフィスの環境になるとステキだと思います。

Q18 オフィスの緑化推進に関する意見、ご要望があればご記入ください（2/3）

「植物の育成環境」や「樹種名の記載要望」といった緑への興味関心、「気持ちよく過ごせる」といった意見があがった。

- 今のオフィスは緑も多く、細やかにメンテナンスして頂いている為、快適に感じています。
- 手間を掛からない植物があったら増やしてもいいと思います。
- 植物園のように簡易的な説明や樹種名を掲示したら愛着がわいたりするかもしれない。
- 緑がもっと多いとオフィスの乾燥はおさえられるのでしょうか？
- 聴覚、嗅覚でも緑を感じられたら良いと思います。
- ぜひ官民一体で推進できる体制を作ってください。
- 照明なども含めた検討。
- 植物も生き物なので、日光に当てて健康に育ててあげたいと思う。定期的に管理されたものと交換できると良いと思う。種類も変わると新鮮な気持ちになる。
- いつもありがとうございます。
- オフィス内の一部エリアのミーティングスペースの緑は定期的に鉢が変えられているので様々な種類を楽しむことができる。季節感があって良い。
- 空気がキレイな感じがするだけで気持ちよく過ごせる気がします。
- 現状に満足のため、特になし。
- 特にないです。いつもいやしをありがとうございます。
- 満足している。

Q18 オフィスの緑化推進に関する意見、ご要望があればご記入ください（3/3）

「緑の量を増やしたい」、「設置場所を増やしたい」、「四季を感じる工夫が欲しい」といった自然環境に近づけたいという意見があがった。

- アロマなどとともに緑があればいやされます。
- 花があればもっと心地良いと思う。
- 自然を感じるように四季を感じる工夫が簡単にできると良い。
- 比較的大型植物の方がオフィス内においては見映え良い。ツル系植物は緑化面積が広くて見映えや心象が良い。
- 自席でも実感できるように、いろんなスケールの緑があると良いと思います。・外構にもっと公園のような豊かな緑が欲しい。
- ワークラウンジは秀逸だと思います。翻って自席周りにはあまり変わらないのがさみしいかぎりです。
- さりげなくお願いします。
- スペースが限られているので難しいと思うが、オフィス内だけではなくオフィス外にも植物が増えていけばよりよいオフィス環境になるのではないかと。
- もっと自然を感じられる社内になればよいなと感じます。ありがとうございます。
- リラクゼーションスペースに緑があるので、仕事をする時はオフィスで、休憩したい時はリラクゼーションスペースで、とメリハリをつけることができていると思う。
外部からも堅苦しくないオープンな会社を感じると思う。
- レプリカのグリーンはありますが、本物のグリーン、植物が増えるとよりリラックスして仕事に取り組める気がします！
空気も良くなるような気がするし、目にもやさしいので賛成します！
- 一部に集まっているので、全体的バランスを考えれば緑への意識が変わる。
- 現在は多すぎて逆にコミュニケーションが辛い状態になっている。
また砂利等があると業務中にメンテナンスの際、騒音としかとらえられない。置くならばケアが簡単にすむものがよい。
- 個人的には、オフィスの緑はあまり大きくない物の方が良い様に思っています。小ぶりなものがあちこちにある方が好ましく思います。
- 仕事場(自席)から見えるところにも緑がほしい。
- 受付に緑は必要だと思います。
- 積極的に緑を増やしていいと思う。そこに心のやりとりを感じることができれば、リラックスできるのではないのでしょうか？敷地の樹を切るなんて言語両断！

調査結果のまとめ

※今回は優良事例の把握が目的であるが副次的に以下、考察と課題をまとめる。

- オフィスで緑に触れ合うことで、日常での緑への興味関心が高まり、接触頻度をあげていきたいという傾向がわかった。
- オフィスに緑を入れることへの総合満足度は高く、より量を増やしたい、設置場所を増やしたい、花も導入したいといったオフィスを自然環境に近づける要望が多かった。オフィス緑化が人々の生物多様性に対する興味関心にプラスの影響を与える可能性が示唆される結果となった。
- 一方で枯葉や虫などの対策の要望、導入及び維持管理コストの改善などの要望は多く、今後の導入促進に向けては導入企業とサービス提供企業との相互での創意工夫が必要である。
- 緑を導入することによる心理的効果を実感している方は多く、一方で生理的効果に関しての実感は低い傾向にあった。また、生理的効果に関しての情報が知りたいという声は多く、どういった樹種や植物の量などで効果が出るかなど実証実験を行い、効果があるものがわかればよりオフィスでの導入促進に繋がるのではないかと思われる。
- 調査結果は各項目別でみた際に多少の差があるものの、全体で見た際に男女や年代などで大きな傾向の違いはみられず、全般的に緑への満足度が高かった。サンプル数が増えた際に同様の結果が出るかはわからない。

調査結果のまとめ（課題）

- アンケートの設問に際して、バイアスがかからないことを意識して作成したものの、結果として真意が見づらくなってしまったものがあった。（例：Q1 “普段”という言葉の定義づけが曖昧）
- 本調査にあたっては優良事例の把握ということから、職場に緑を導入していない企業との比較がないため緑への寛容度合の時系列（導入前・導入後）がわからない。
そのため本調査における、緑を導入している企業の前段階が、導入していない企業と同じであるか分からず、本調査がオフィスに緑を入れたことによる緑への関心度合であるか不明である。
→そこで緑を入れていない企業を比較対象として調査し、寛容度合の差分を調べる必要がある。
本調査は優良事例のヒアリングであり、導入していない企業が対象となっていないため、今後は導入前と後にわけて深堀調査を行い、その調査に本課題を委ねたい。
- 本調査における年齢層50-60代の結果が比較的良い数字になっている理由として、主観調査である事が可能性として考えられる。一般的なエビデンスづくりにおいて、心理的調査と生理的測定をとっており、両方を照らし合わせることで矛盾を排除し、有意差のある有効なデータ（例えばストレス値）を算出する事ができると考える。
→今後は上記観点を踏まえた調査が可能となれば、より精度の高い調査結果が期待できる。